京城日報

十一日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田[illegible]
印刷人 小川三之介

◎伯外相獨公使を拒絶

伯剌西爾外相は獨逸公使の引見を拒絶したり(桑港電報)

◎伯國對獨宣戰切迫

伯剌西爾政府の對獨宣戰布告時期切迫せり(路透電報)

◎聯合軍大攻撃開始

聯合軍は春期の大攻撃を開始し獨軍爲めに突破されたり(桑港電報)

◎露國銀行支拂制限

露國々立帝國銀行は今回規定を改め一般預金者に對し新たに十箇年以内には預金支拂を爲さゞる可しと(哈爾賓特電)

◎政戰漸く白熱す

勝田藏相、岡田文相、後藤內相及び仲小路農相等相亞いで地方遊說に出馬し政府與黨對在野黨の應戰今や白熱點に達せり(東京電報)

◎新炭鑛發見

最近チタ附近に有望なる炭鑛發見され地下四十五尺を穿てば炭脈に逢し其生產高甚大にして目下露人の經營規模小なれど資本家の投資する者あらば同地方に於ける唯一の炭鑛たる可し(哈爾賓特電)

◎松花江解氷

松花江は既に數日前より解氷し吉林局は航行開始の準備を爲し目下碇泊中の新濟號は十二日より又露國船も修理終り不日航行を開始す可し因に本年は昨年に比し初航行遲れたり(哈爾賓特電)

◎日郵臨時總會

日本郵船株式會社に於ては來る廿五日同社臨時總會を開催し重役四名增員の件を附議す可し(東京電報)

◎聯合會決議

十日午後大日本紡績聯合會總會を東京に開催し支那關稅引上げ反對を決議せり(東京電報)

◎新義州 第三日の總督

長谷川總督は十日午前八時半鐵道ホテルを出で直ちに自動車を新義州府廳に驅り同廳門前に於て各官衙長官府廳員府協議員及び學校組合議員等の出迎を受けて府廳樓上の應接室に入り其處にて深川府尹の事務報告を聽取し更に大廣間に於て前記官民三十有餘名に接見したるが先づ深川府尹に案內せられて廣間に入り來れる總督は豫め設けたる座席にも就くことなく溫顏を以て輕く會釋し「始めて私は長谷川好道よろしく」と云ふが如く極めて平易

▲淡白に挨拶 して其まゝ階下に下り府各課に就て事務の狀況を各主任より聽取し再び樓上應接室に於て特に多田榮吉、高羽秀吉兩氏を引見し多田氏よりは同氏の其力を傾注しつゝある日露貿易に就き高羽氏よりは鴨綠江の運輸狀況に就き孰れも是を聽取し貿易及び運輸上に就て多大の注意を拂ひつゝあるを示したるは特に官民の注意を引きたり其れより守備隊營林廠及び同製材所を巡視し營林廠に於ては齋藤廠長の乞ひにより同廠苗圃にヂーバイションの記念植樹をなし製材所に於ても備に各種製材の

▲實際を熟視 したる上最後に鋸屑を燃料に供しつゝある模樣をも見るべく機關室まで立ち入りたるは如何に其視察の入念なりしかを見るに足るべし折柄時間の正午に迫れるを以て豫定を變更して稅關支署普通學校及び法院支廳は是を巡視することを見合はせ直ちに小學校に赴き吉田校長の案內を以て恰も授業中なりし各學年各教室を普く參觀し殊も熱心に視察するもの丶如くなりしが吉田校長の施設經營上の報告を聽きて頗る同感なる旨を告げて今後の奮勵を望みたるは同校職員一同の特に

▲面目を施し たる處なりき總督は其れより鐵道ホテルに引き還して午餐を終へ午後一時三十五分發特別列車にて平壤に向け出發したるが停車場に於ける見送りは出迎の時と同じく官民及び守備隊小學校生徒等數百名なりき(新義州)

◎平壤の總督

平安北道の巡視を了れる長谷川總督は十日午後六時二十分平壤驛著臨時列車にて宇佐美內務部長官古海警務總長を帶同其他高橋武官神田秘書官藤波通譯官三浦副官宍戶總督府屬等を隨へ平壤に來著せり驛頭には工藤平南長官市川旅團長鳥山覆審法院長松寺檢事正張參與官篠田一部長富永二部長本田府尹赤木中學校長田中高普校長水谷寺洞鑛業所長齋藤署長其他諸官衙代表者大橋商議會頭各銀行代表者府協議會員學校組合會議員赤實兩社員神官牧師僧侶新聞記者等數百名整列し驛外右側道路には步兵七十七聯隊山口少佐の率ゆる一箇大隊の步兵列を正し左側には平壤中學、高等普通、女子高學普通、高等女學校、公立尋常高等小學校生徒其他各鮮人學校生徒等教師引率の下に出迎へたり停車と同時に長谷川總督は中山驛長の先頭にて出迎諸員に對し擧手の答禮をなし一先驛貴賓室に入り小憩の上自動車に乘り(工藤長官、[illegible]務長同車)軍隊學校生徒等堵列の中を鄭重なる答禮をなしつゝ道路を柳屋旅館に入りたるが此日天氣晴朗にして市中は各戶國旗を揭げて敬意を表せり

▲接見者氏名 長谷川朝鮮總督は十一日午前九時より平南道廳に於て平壤在住の各官衙代表者及び民間代表者に接見したるが其の氏名左の如し(平壤)

府協議會員大橋恒藏、德井佐一郎、竹中佐次郎、花明、黃昌[illegible]、朴鳳輔▲學校組合會議員村井正明、隅坂彥之助、古莊仁太郎、松尾六郎、新野吉兵衛、[illegible]▲道參事金義茂▲府參事蔡元鉉、朴主鉉▲商業會議所議員林長太郎、金南錫▲平壤醫師會代表者金子直臣▲銀行家中西喜久雄、津村龍之助、松崎久▲金融組合理事代表者松田文雄▲東亞外山石英▲東拓吉植庄造▲記者團岡崎益矢▲神官松尾正枝▲牧師高橋麗誠▲佛敎與大谷尚歡▲在鄕軍人階郡芳樹▲實業家板倉金太郎、山口源一

◎叙任叙位傳達

十一日午前十時より總督府第一會議室に於て過般高等官二等に陞叙されたる中央試驗所技師村田素一郎氏外四名の叙任、鐵道局技師山岡邑治氏外三十二名の叙位並に李王職事務官武藤文吾氏に對する叙勳の傳達式を擧行し荻田總務局長久芳人事課長其他係員立合の上山縣總務統監より夫れ〳〵傳達同十時四十分閉式せり

◎農債二百萬圓の發行

大藏省預金部の融通……東拓金融部の引受け……低利の農工債券……十六日受授す

▲總督府度支部 當局にては此際頗る低利の農工資金を預金部より借入れ之れを朝鮮各地に於て需要漸く緊からんとする農工資金の需要に應せば頗る適當ならんとの議出で先月野坂理財課事務官の東上用向きの如き其の主要なるものなりしが結局總督府對大藏省の交涉は頗る圓滿に進行し總額二百萬圓を預金部より低利に貸出す事に決定其結果三月下旬各農工銀行支配人の會同と進みたるが低利資金の一般供給までの形式は預金部より一應東拓金融部に貸附け金融部は各農工銀行に於て發行する農工債券の引受けを行ふ事に決し著來る十六日東拓金融部と各農銀代表漢湖農銀との間に金額の受授を行ひ地方農銀の發行額は直ちに鮮銀當座預金に附替へを行ふべし、各農銀の發行額左の如し

漢湖農工銀行	五十萬圓
慶尙農工銀行	四十五萬圓
平安農工銀行	四十萬圓
光州農工銀行	廿七萬圓
全州農工銀行	廿八萬圓
咸鏡農工銀行	十萬圓

而して條件は三年据置十七箇年賦償還にて年利五分七厘發行は額面相當額なり尙ほ元利金の支拂は漢湖農銀にて行ふべし

▲高瀨理事談 今回の農工債券二百萬圓の引受けは來る十六日總額の授受を行ふ事となつてゐる「形式は東拓で引受けたのであるが、其の全部の資金は總督府の斡旋により大藏省預金部より引出したのだから年利五分七厘と云ふ實に素敵に低利な又た大樓長期の條件となつた恐らく如斯安い農債は以前は素より今後も……遠き將來は知らず……一寸朝鮮の農銀で發行は可能まいそれ丈け安く一般に貸附けらるれば朝鮮の農工業の發展を圖るに格好の資金である、早い話しが最近內地の三三農銀で出した社債は年利六分五厘となり利子は內地が安いのを本則とするのに反つて今回の朝鮮農債より入厘方高い、以て如何に今回の農債は有利であるかと分る云々

▲二回目の融通 朝鮮の郵便貯金約一千萬圓は全額大藏省預金部に送致せられ居れるが一方預金部より朝鮮へ低利資金の融通を受けし事は明治四十二年一百萬圓を農工資金として時の韓國政府に年六分に貸附けし事あるのみにて今回の二百萬圓は其の第二回目となり居れり右の外日本勸業銀行の貸出中預金部の低利資金が間接に朝鮮に流入し居る額は若干あれど必らずしも多額ならずと

◎全國氣象協議會

中央氣象臺にては十九日より二十五日まで全國氣象協議會を開催の筈にて朝鮮よりは仁川觀測所長平田德太郎氏出席の事に決せり

◎南山公園道路改修

府土木係にては本年度に於て南山公園內の道路改修又は附替を斷行すべく約一千圓の工事費を投ずべしと云へり

◎山形少將愈出發

前總監部高等警察課長陸軍少將山形閑氏は愈々京城を引揚げ家族同伴十二日午前八時三十分南大門驛發列車にて東京へ向け出發す可し

◎岡野長官下仁

岡野行政裁判所長官一行は十一日午後零時三十分南大門驛發汽車にて仁川に赴き築港狀況其の他を視察の上七時歸京

◎石塚總裁消息

嚴父逝去の爲め福島縣若松市に歸省中の東拓總裁石塚英藏氏は八日葬送を終り十五六日頃までに東上し二十四五日頃淸水秘書役を隨へ歸鮮の筈なり

◎早川經理部長上京

第十九師團早川經理部長は全國經理部長會議のため十一日朝龍山出發上京せり

◎今村二部長出張

今村京畿第二部長は大和田稅務係主任を隨へ十一日高陽郡管內一般狀況視察の爲め出張せり同日歸任の筈

◎黑田侯令嗣入京期

舊福岡藩主黑田侯令嗣子長禮氏は昨年理科大學卒業爾來專門に禽鳥の研究を爲し居れるが過日來鮮目下湖南線方面にありて水禽の研究に從事しつゝあり兩三日中入京の筈にて舊藩士白水軍參謀長、入江理財田中山林兩課長等發起となり同縣人相會し歡迎會を催す可く計畫中なるが同縣人にして出席希望者は本町森岡助氏の所に申込まる可く歡迎會日時及び場所等は追つて本紙に廣告す可し

◎宋子爵少將招待

子爵宋秉畯氏は不日歸東すべき陸軍少將山形閑氏を十一日三淸洞の別邸に招待して午餐會を催し陪賓として國友中野亥角の各課長松井警察官練習所長大橋高級副官太田大尉齋藤中尉等を招待せり

◎遠山漢農支配人

遠山漢湖農工銀行支配人は九日歸城支店事務監察の爲め出張中なるが十一日歸京すべしと

◎德富監督扶餘行

滯京中なる德富本社監督は合息萬熊氏隨伴十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて扶餘探勝の途に就き十四日再び入京す可し

◎開城電氣進捗

開城電氣株式會社創立事務は愈進捗し株式は三月二十六日を以て全部拂込を了したるが來る十四日第一普通學校に於て創立總會開催役員の選擧を行ふ可く尙ほ機械等は會社成立と同時に購入の運びと成り居り敷地も既に選定し家屋の建築に取掛りたれば今秋迄には是非點燈の事となり居れり(開城)

◎麥酒値上と平壤

日本麥酒、キリン、カブト麥酒の箱二圓方値上げの入電に接したる平壤の特約販賣店は頗る大混亂を極め得意先きに對する値上げの通知市中手持ち品の調査新注文に對する謝電と大狼狽の狀態なるが平壤在庫品は僅かに各種ビールを合せて五百箱內外に過ぎず各特約店は時季尙早の故を以つて未だ大口の取引は各社共皆無の有樣なり然るに昨夕に至り亦々サクラビールの値上加盟の報傳はりて一層の繁忙を呈し地方より注文の電報引きもきらず此れに對する將來の方針等に就き近々同業者は打合せをなす筈なり因に五年度平壤に輸入せしビールは總計二萬三千一百三十四圓にして箱數約四千箱本年一月より三月末日迄の輸入麥酒二千七百五十七圓なりと云ふ

◎南浦商議役員決定

鎭南浦商業會議所に於ては九日改選第一次評議員會を同所樓上に於て開會し役員の選擧を行ひたるが會頭には西崎鶴太郎氏、副會頭には馬場嘉藏氏常務委員には鈴木種一、牧野昇、伊丹儀平、金正民、李孝健の諸氏當選せり因に西崎氏は旅行不在勝ちなる故を以て豫め當選を避けん爲め二三候補者を擧げて極力辭退したるも衆意動かす可らず滿場一致の推薦に依り漸く就任を承諾したるが久しく持て餘されたる會頭問題も斯くて茲に解決する事を得たり(鎭南浦)

青島より

韓製數

小生今回支那旅行に就き、豫て一見致度くと存候支那北部及び中部に於ける主要なる大都會(滿洲を除く)は、本日を以て其の視察を了し申候大體に於て感じたる所を簡單に申上ぐれば

一、人民の生活階級餘り複雜にて高低の差異甚しきこと。

二、個人主義は相當に發達し居れども、國家的、民族的觀念が薄きこと。

三、傳染性の惡病可なり全國に擴がり居れども、衛生思想未だ乏しく、療養の方法を閑却して、病氣は自然の成行に任する者多きこと。

右の如くに御座候。(大正六年四月六日)

〓仁川〓

▲仁川海水浴場候補地視察 仁川近郊文鶴山下玉蓮里の海濱に海水浴場を設け避暑地として普く紹介すべく仁川有力者に依りて計畫されつゝ有るは既報の如くなるが楠野府尹は十一日午前八時頃より警察ランチに搭じて玉蓮里に至り實地視察の上陸上徒步にて歸仁の筈▲仁川金光會 仁川金光敎會にては九十の兩日午後八時から本部に於る春季大祭遙拜式を行ひたる後敎會主任の信仰は快樂向上の基と題し說敎ありたり▲筑前琵琶演奏會 小田旭浪氏は今回退仁するに就き美濃谷、井上、高松諸氏發起にて十二日午後七時より仁川俱樂部に於て送別演奏會を催ほす由▲船舶職員試驗 仁川海事出張所にては來る二十日臨時船舶職員試驗を執行する由にて其の種類は

汽船甲種二等運轉士、湖川港乙種二等運轉士、丙種運轉士、乙種船長、乙種二等運轉士、小形船舶機關士、一二等機關士、發動機船二三等機關士、湖川港三等機關士、發動機三等機關士

にして受驗申請書提出期限は四月十五日迄なりと

〓鎭南浦〓

▲人夫の不足 鎭南浦に於ける諸事業の隆興は鮮人人夫の大缺乏を告げ從來三十錢位の賃金なりしものが昨今に至りては四十五錢位の提供するも尙ほ不足にて諸會社工場にありては一人の人夫も寄合の狀態にて其工場主の如きは人夫募集の爲め人を各地に派出しきりに人夫の狩出しに勉め居れり▲鎭南浦の貸家拂底 鎭南浦に於ける現在內地人戶數は千三百戶餘なるが大正三四年の不景氣時代に於ては全市の四分の一位の家屋は空屋にて借手なく家賃は無料にても住む人なかりしが戰亂の影響と製鍊所の設置等にて漸次景氣の挽回せると近時二三大工場の新設確定とにて內地人の居住者昨年來より非常の增加を來たし爲めに從來空家たりしものも今日にては全部充塞され諸所に新築中なるが未だ需要を充たす能はず爲めに家賃の暴騰を來し三疊二間位の家賃が六七圓を唱ふる盛況なりと▲學校組合會議員の改選 鎭南浦學校組合會議員の改選は來る五月中旬行はるべきが選擧有權者數四百三名にて議員數十名なるが現議員中二三出馬せざる向あるべき見込にて新候補者として牧野昇、小瀨元司、山本浦次郎の三氏出馬すべく噂さるゝも目下運動がましき行動なきも選擧間近きに至れば多少競爭を見るべし

◎新義州氣象概況

營林廠に於ては從來簡易測候所に準ずる設備を爲し日々の氣象觀測を遂げ居れるが昨年中同所觀測の

▲高極溫度は概ね七、八月に起り昨年八月二十五日の三十四度九最も高く同日龍岩浦郡測候所の最高三十三度五より高き事一度四分である

▲低極溫度は十二月に起り二十六日の零下二十八度三は最低であつた昨年十二月下旬の寒氣は新義州方面稀に見る所であつた又年中を通じて

▲零度以下に下つた日は百五十三日 平均溫度が零度以下となつた日は百十二日 最高溫度が零度以上に上らなかつた日が四十一日と云ふ之を

▲月別に平均すれば八月の二十五度三が最高で十二月の零下七度九最低と云ふ譯になる 即ち一年平均溫度は十度と云ふ事になる

▲晝夜溫度の差は五月の十四度最大で九月の八度三分が最小である 全年を通して一、二、三、九、十、十一、十二月は概して北風多く四、五月は北西風、六、七月は南西風、八月は東風が多いと云ふ事だ

◎米官憲獨探捕縛

米國官憲は九日更らに二名の獨探を捕縛せり其內には前西部無線電信局長あり(紐育電報)

◎獨軍捕虜三千五百

英軍の一隊は獨逸戰線に對する新襲に於て敵三千五百名を捕虜とせり(倫敦電報)

◎土勃對米國斷交近し

土耳其及び勃牙利は近く米國と國交を斷絕すべし(路透電報)

◎南米公使會見

伯林駐在南米各國公使は獨逸外相と會見せり(紐育電報)

◎支那參戰行悩

支那參戰問題は猶ほ行悩みて決せず(北京電報)

人事消息

▲[illegible]氏(李王職事務官) 十一日附水原郡へ出張を命ぜらる
▲齋藤孝平氏(土木局技師) 十日附[illegible]出張を命ぜらる
▲坂出鳴海氏(總督府技師) 十一日附全北管內へ出張を命ぜらる
▲池田泰次氏(土木局技師) 同日附全北管內へ
▲櫻井小一氏(仁川[illegible]) 同日附[illegible]東京大阪神戶門司へ
▲平田德太郎氏(仁川觀測所長) 同日附東京へ
▲白井水城氏(辯護士) 十一日入城
▲中井錫太郎氏(三井物產會社員) 十一日[illegible]
▲多久米三郎氏 [illegible] 同上
▲中野天心氏(書道家) 同上

逐鹿夜話

▲今日迄候補者で選擧違反の爲め收監せられたものは全國を通じて七名位だが一箇所で二人收監されて居るのは埼玉縣許りだ一體埼玉縣では田の字の付く先生が鬼角運が惡いらしい第一福田久一君と云ひ滿田長五郎君と云ひ皆田の字が付いて居るのみならず指田派の參謀長になつて居る人も召喚されて居ると大分振つた說が持ち上つて居るらしい

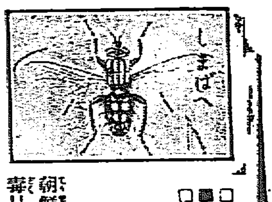
▲丸龜では定員一名の處へ六人の候補者が現はれて大爭奪戰をやつて居るがお隣の德島縣の政友會では態々床次君が出馬して公認候補として川眞田、三木、西野、板東の四君を推薦して承認所になつたかと思ふと川眞田、三木、西野の三君は揃つて候補を辭退し西野君などは[illegible]の溫泉から態々德島新聞に「小生公認候補に推薦されたるやに[illegible]合に依り退辭す」云々と[illegible]て居る之には政友會本部も[illegible]したが兎に角本人は不承諾で[illegible]でも構はない之が即ち理想選擧だと運動に著手して居る相だが當選したら理屈を付て選擧費用は本人に出させるのだらうとは大に苦しい

▲逐鹿裏の花形濱口雄幸君と中野寅次郎君との對戰は却々猛烈になつて來た樣であるが兩氏の推薦狀が又頗る振つて居る濱口君のは加藤總裁を筆頭に總務顧問總出の名がヅラりと並んで濱口君は天成の大政治家で將來の總理大臣に擬せられつゝあるは世上常に定評あり云々と褒め上げてあるが敵手たる中野君のは板垣老伯の名前で劈頭に於て吾黨の唱ふる立憲政體は[illegible]と大きく出て[illegible]寺內伯[illegible]を卸げて[illegible]加藤子爵[illegible]云々と加藤總裁に[illegible]を攻めて最後に一夜造りの政黨員よりも三十年一日の如く操守を變せず終始事を變ふるの方が適當だと結んである[illegible]々對し來ると好一對の推薦狀である因に中野君と板伯とは伯の言ふ如く父子に均しき關係のある人たそれだから一層政戰が面白い

□東京より　高橋 旭堂

小生高崎市に於ける立候補の義政友會と協定の上退讓の事に決定仕候櫻花爛漫重荷卸して遊山哉

來る十五日迄に歸鮮の筈に御座候。(四月九日)



蠅退治（二）

▽若い親蠅が愈々現はれた　▽最も危險なのは鮮人の厠

總督府醫院醫官　小林晴治郎氏談

朝鮮で最も恐るべき蠅の毒、虎よりも恐ろしい蠅の毒！これは是非共各個人の驅除に努る注意と官民

合同の努力 がなくては叶はぬ、此の頭の鱗かすに恐るべき軍はモウそろそろと攻撃準備にとりかゝつた、嚴冬の寒さを溫突の天井や木の間に冬眠しつゝあつた若い雌蠅は腹充滿の恐るべき卵をそこここに產みつける、卵は一匹ずつと百二三十個、これが

一週間內外 で自由自在に飛び出すのだ、誰れも〳〵蠅を見たら鬱の節と思はねばならぬ、蠅が病氣の傳染をやるのは主にその肢である、肢は顯微鏡でよく見ると恐ろしい二本の爪があつて猶ほベラ〳〵と

短毛の密生 した海綿狀のプルヴヰルスといふものがある、これはベタ〳〵何處にでも粘着するから蠅は自由に天井裏にぶら下るのである。また蠅の吻は吸盤狀を爲せる管であつて食物は總て液體でなければ吸ふ事が能きぬ、そこで固形體の食物には自分の

口から唾液 を出した上これを溶かして吸ふのである、されば肢の端に付けた病菌も恐ろしいがまた口から腹に入れてまた吐き出した病菌も恐ろしい、如何となればコレラ、チブス菌の如く乾燥して死ぬる病菌にても蠅の體內に入れば

何時までも 活きてゐるかである。蠅の種類にはいへばへ、ひめいへばへ、おほいへばへ、にくばへ、きんばへ、くそばへ、さしばへ等があるが內地では普通家に居るいへばへが九割を占めて居る。此のいへばへといふのは不潔は不潔であるけれども

主に座敷に 居る奴で他のくろばへ、きんばへの如く厠と交通するやうなとはあまりない。また元來蠅の性質なるものが明るい日光を好むから暗い厠の裡などには行かぬけれども朝鮮のやうに鮮人の明るい厠があれば實に危險千萬である。

厠の構造の 不完全な地方柄でもには幼兒の死亡率が多いのであるから朝鮮の如きは是非共鮮人の野糞と厠を改良しなければならぬ、蠅の驅除法には器械藥品いろ〳〵あれど米國では主に漂白粉（二十六貫の馬糞に百二十匁）で幼蟲の蛆を殺して居る、また硼砂の粉末（一石六斗の不潔物に二封度）を溶いて用ふることもある、併しこれは

蠅を殺す外 に人畜に害のなきことゝ肥料としても危險なき藥品に限るのでなか〳〵むづかしい、日露戰爭の時分わが滿洲軍が蠅に惱まされたのを慨いて名和昆虫研究所の人が百合科の植物で蠅除け藥を發見したといふとだが亞米利加にも此の種の植物があるらしい、それに蠅の卵が蛆となつて更に蛹となるには

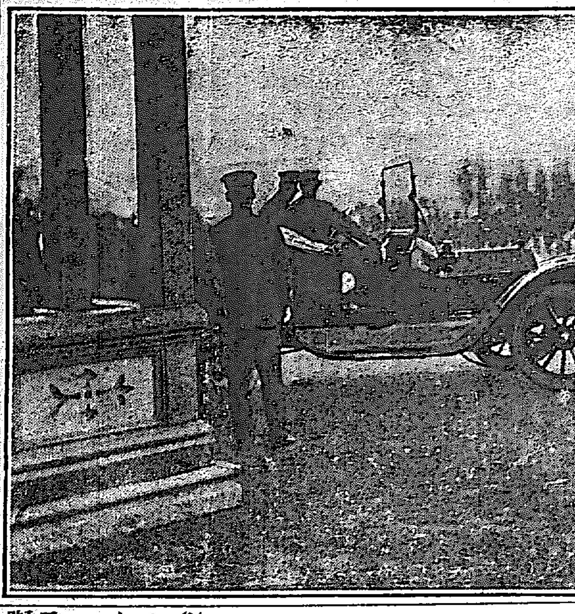
土か濕氣の ない所に潛ひ出すからこれを集めて殺すもよい、猶ほ蠅の大敵は一種の菌類と寄生蜂があるからこれを蠅除けに應用するも面白からうと思ふ（つゞく）

××××

◇蠅退治記事は此の際一般の注意を促し至極結構と存じ候、蠅の多き朝鮮にある吾人は此の際盛んに蠅退治に努めたきものに御座候（田中生）◇京城の蠅は光熙門外の糞捨場から電車に乘つてやつて來る奴等は彼處で幼虫を撲滅せよ（[illegible]生）◇去年の夏妾の家の小供がミルクにとまつた蠅の爲めに酷い病氣になりました世間の親御達特に注意なさい（花[illegible]）◇我輩は夏になると窓に紗を張つて蠅を逃び出すから天下泰平なり（我[illegible]）◇拙者の近所には屠牛場があるので蠅が多いなるほど馬糞は蠅の溫床でござるかな（[illegible]生）

◇桃山御陵に於ける昭憲皇太后三年祭

十一日朝桃山御陵にて昭憲皇太后三年祭を執行せられ閑院宮同妃殿下竹田宮妃昌子內親王殿下波多野宮相以下參拜掌典長谷信道氏勅使として參向せり（大阪特電）



西鮮巡視中の長谷川總督（十日平壤驛頭にて）

歷代各御陵の巡拜

波多野宮相嚴密に檢分す

波多野宮相は十日入洛し十一日泉山御陵より粟田花園天皇御陵を巡拜し十二日は山科各陵より大津の弘文天皇御陵等を極めて嚴密に巡拜檢分せり（大阪特電）

革命殉死　百八十餘名

露都西南の平原に於て葬儀を營む

過次の露國の革命に殉じたる百八十有餘名の英靈の埋葬儀は露曆二十三日午前八時より露都西南に在るマルリーフ平原に於ていと莊嚴に執行されたり當日は特に諸官廳始め各製造工場商店等休業して弔意を表したり（哈爾賓特電）

一小村殆んど全燒す

福井縣の火事

福井縣足羽郡上宇坂村字小宇坂は人家僅か三十四戶の小部落なるが十日火災を起し二十六戶を全燒し一部落殆ど全滅せり（大阪特電）

石油大噴出

日本石油會社新潟縣南蒲原郡大面第四號油井は九日午後三時より石油大噴出し十日朝八時迄に五千石に及べり（大阪特電）

又も狂犬二名を咬む

京城吉野町二丁目網田某の飼犬は十日三坂通にて太平通森田柳太郎（三）外一名を咬傷し獸醫診斷の結果狂犬と判明し即日撲殺し被害者は加療中

煙草代で遊興

山口縣大島郡蒲野村生れの佐々木好助（三）は一月十六日より京城本町四丁目煙草商伊藤萬次郎方に雇はれ注文取り及び代金の取立に從業中本町五丁目野田天外堂外四戶より集金したる煙草代金合計二十二圓餘を橫領し遊興消費して無斷逃亡し四月二日龍山を徘徊中を雇主に取押へられ餘罪ある見込にて目下龍山憲兵分隊に於て取調中

蘇生つた芝居寄席

活動も一館殖えて

◎京城の藝界益々多事◎

春の色日每に深増りゆくにつれて不振な京城の演藝界に大分活氣が見えて來た、活動寫眞の

▽**常設館** を除いては何も彼も休んでゐた寄席劇場が殘らず盛替へをするやら表構へを變へるやらして蓋を開けたその第一番が壽座で曾我廼家一派の喜劇蝶馬會で蓋を開けると去年の蒸し返しながら大分惡冗い藝が人氣に投じて割れるやうな入りそれが十日限り龍頭蛇尾の成績で千秋樂になると今度は新檢番の藝者連中が

▽**双肌脫** になつて稽古に勵んだ道樂芝居、出演すると否とを問はず藝者といふ藝者が全部保險會社の外交にでもなつた氣でそれ〳〵關係筋に切符を押付けて歩くので素晴しい前景氣南大門の御成座では之も去年から京龍を迂路ついてる新派劇眞美團といふのが朝鮮芝居に代つて相變らず安く見せてゐたが二三日前から閉場して、更に新らしい所を二三枚加へて十六七日頃から旗揚の目論見中經營者が

▽**猫の眼** のやうによく替つた壽館は左官が本職だといふ山下某が『今度は私が大丈夫遣つて見せます』と女浪花節を上げて厚壁を塗り固めるやうな調子で氣張つてるのでどうやら之れも續くらしく去年の暮以來休館してゐた有樂館は早川演藝部が所有者の大倉組と或る條件の下に賃貸の契約が出來、是まで活動常設館として不便であつた點は悉く建て直して完全な活動

▽**常設館** となつたが之に就いて早川君が有樂館を手に入れると同時に黃金館をも引續き經營するつもりでゐたところ黃金館所有者の田村君から自分の館を有つてる者に貸して置く事はならぬと刎ねつけられ、そんな事から一悶著あつたが結局黃金館を棄て有樂館專門となつて可なりに成功した、そこで黃金館を返されて鳥渡困た田村君が適當の經營者を見つけてゐる內に田村御大の

▽**鑑識に** かなつたのが浪花館の西田君、最初の間は無經驗といふところから二の足を踏んでゐたのを條件付で引受ける事になり辯士屋ひ入れには急いで大阪へ人を派すといふ騷ぎ十五六日頃から開館する事になるだらう、恁う數へて來ると休んでゐるのは本町六丁目にある稻荷座より無いそして各座各館が

▽**相當に** 客を吸收してゐる勢ひはえらいものである、之れから夏に入るまでは當分演藝界は賑ふ事であらう

◆多數の希望者の便宜を圖つて

約十名　參加し得る餘裕を

新に作つた我社主催滿洲視察團

♣出發期は近いた＝參加希望者の福音

愈々十五日に出發と決つた本社主催南北滿洲視察團は豫想以上に歡迎を受けまして團體加入の申込みは非常に多く朝鮮在住の紳士の粹を集めた有力な大觀光團が出來ましたが陽春の好季に於いて滿洲觀光を希望する人のために便宜を圖つて成るべく多數の人の參加を希望するために特に十名程參加し得る餘裕を作る事になりました。左に觀光團の規定を判り易く申し上げて見ます

會費は一名金百圓、團體加入の手續は原籍、現住所、氏名年齡等を記して之れに

♣**保證金** として會費の內金三十圓を添へ、本社經理部長藤村忠助宛又は各地支局宛に申込めば宜しいのです、そして殘金の七十圓は出發までに拂ひ込まれたく、若し出發までにお拂込の無い節は

♣**棄權者** と見做し保證金の內から損害費用として十五圓を申し受くる事になつて居ります。會費一切お拂込みの後事故のため中止せられる場合には成るべく代人を參加せられたく會費はお返しいたさぬ事になつて居ります、即ち前記の會費を以て

♣**往復の** 二等汽車賃宿泊料辨當代及び團體として各所視察の馬車、腕車、電車等總べて團體的費用一切の支辨に充てますから團體を離れての費用の外一文も要らないわけであります、京城以內の會員諸君は出發當日卽ち

♣**十五日** 午前九時までに必ず南大門驛特別待合室に集合していただきたく又京城以北の會員諸君は隨意各所在地の停車場から十五日午前九時十分南大門驛發北行第一列車に聯結された視察團專用車に

♣**乘り込** んでいただきたいのです、但し京城在住の團員諸君及び京城以南の團員諸君にして四月十四日夜迄に入京された分は奉天迄の

♣**列車內** に於いて必要でない手荷物を一纏めにして十四日午後四時までに本社へ御携帶の上お預けになれば本社から手荷物として列車に積込みます。携帶荷物は成るべく省略を願ひたく但し視察團に對して各視察地に於いて日、支、露の官憲

♣**その他** 有志の歡迎會に列席するやうな場合が屢々ありますから見にくからぬ範圍の服裝をされたいと存じます。勿論旅行中であますから背廣服は差支へありません、猶ほ登錄濟みの會員各位には詳細の視察行程及び

♣**旅行上** の注意要件等を詳記した滿洲視察團の栞と題する小冊子を差上げます

●**三社例祭期**　仁川神社にて　當社祭末社なる金刀比羅、稻荷、菅原の三社の年中例祭の儀式が[illegible]

●**嬰兒二名を壓殺**　忠南公州郡正安面大山里權氏（三）といふ[illegible]を前同樣壓殺して[illegible]附近の畑中に密葬したるも罪の發覺を怖れ屍體を居宅に隱匿中を此程公州警察署の探知する所となり[illegible]

一等（二名）坂本榮一[illegible]九名）[illegible]
二等（[illegible]）[illegible]

課題及文藝募集規定

■**募集規程**　▲用紙は[illegible]　匿名の外に住所氏名明記の事[illegible]

天氣　くもり　曇り後晴れ（十一日午後六時發）　四月十二日　[illegible]

商況

債券現物特電　十一日大阪來電　[illegible]

公債直取引　[illegible]

深川在米特電　[illegible]

東京期米特電　[illegible]

大阪三品特電　[illegible]

大阪期米特電　[illegible]

下關期米特電　[illegible]

雜報

●**綿糸布好勢**　龍シー六圓六十七錢五厘　九龍六圓七十錢　鷲綾六圓三十錢　小締り　[illegible]

●**撫順と開平炭**　[illegible]　**漸次採炭減少**　[illegible]　**特種の用途に著目**　**朝鮮之比較使用**　[illegible]

●**色豆は暴騰**　[illegible]　**大奔騰**　**二百丁內外の**　[illegible]

●**澱粉は不勢**　**有力筋一齊に買控**　[illegible]

●**天候と影響**　**案外割高**　[illegible]

●**麥作に惡影響**　**殊に海產物**　[illegible]

●**牛皮變らず**　**期待の如く捗々し**　[illegible]

●**精白米引締む**　**十錢方を引締め**　**四圓七十錢が最低**　[illegible]

●**馬毛の輸移入**　**著しく騰貴**　**上物一斤四圓五十錢**　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　三巴仲買店　[illegible]

●**罐詰類持合**　**格高**　[illegible]

●**洋靴下愈々拂底**　**內地製品を以て補充**　**工賃の低廉の結果**　**近年滿洲向き**　**保ち合**　[illegible]

●**磨液製造好況**　**滿洲より原料運搬**　**價格は約其半分**　[illegible]

京城正米　[illegible]

南大門の廻穀　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目　大五仲買店　電話三〇九番九二番

仁川現物市場　[illegible]

釜山穀物（十日）　[illegible]

生魚市場　[illegible]

仁川期米　▲十一日前場　十六圓六十七錢と　大阪前寄　昨止より一錢高の入電　二節六十三錢と小甘き移り　大阪四節　六十一錢の賣物　益多く更に五錢と押目は　又利喰に新規に買物多く　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　[illegible]

市場零聞　▲俄然下押す　[illegible]

▲**前場の手振**　[illegible]　▲**中限に解合成立**　[illegible]　▲**噂**　[illegible]　多く動けば投げ退かん形勢　中限は未だ浮動玉　受渡しすべく決定　又復二錢切の逆鞘　當限は已に　[illegible]

迅速　確實　廣澤玉次郎　仁川米豆取引所仲買人　[illegible]

▲**當中又逆鞘**　[illegible]　▲**今の商內**　[illegible]　▲**三の商內**　[illegible]　▲**一變軟弱**　[illegible]　入津薄　正米は依然　軟派の追擊に　[illegible]

仁川米豆取引所　十一日の六月限　前場　平均値段　[illegible]

……良て興祭を執行する由

……や同里宋……と私通し昨年十二月……二十七日午後八時頃女兒を分娩した

●連絡船上陸客 十日午前九……二百四十八名……十一日午後九時三十五分釜山入港列客……

●東宮殿下 奠都博に行啓
◇不夜城の美觀＝入場者五萬を算す

變に淳宮、高松宮兩皇子殿下を始め梨本妃殿下並に竹田若宮殿下等を迎ひ奉れる東京奠都五十年奉祝博覽會では十日午前畏くも皇太子殿下の行啓を仰いで更に

▽一段の光榮 に輝きを增した御巡覽は畏きに兩皇子殿下の執らせ給へる御履序に依らせられ先づ東海道五十三次の大模型を通らせられて先帝陛下の御東幸當時を偲ばせられそれより第一第二の參考館並に陳列館等を詳細御覽の後

▽朝鮮館階上 に於て暫時御休憩の上還啓遊ばされた、又去る八日の日曜は折柄の好晴の花日和とあつて會場は朝來湧き返るやうな賑やかさであつた正門前の廣場には自動車、馬車さては俥と

▽列を作つて 切符賣場では汗を拭く暇も無いと云ふ有樣場內は到るところ人を以て埋まり令夫人と令嬢を供れた閣司侍從長や內田遞信次官等の顔が人の波に揉まれてゐるのも目に付いた夜はイルミネーションの光輝く一大不夜城の美觀

▽書に劣らぬ 賑ひで入場五萬人を算するの盛況を見た、備第一參考館には九日より故明治宮皇王殿下の油繪の御肖像並に御使用の金の御紋章、緋縅紗馬遼の馬標二本皮製黒塗の陣笠一、赤銅作御紋章目貫の太刀一、梨地御紋章附の鞍等が新に陳列され更に光彩を添へてゐる（東京）

●黄金が有餘つて困る
嘘の樣な米國戰爭成金の贅澤振り

米國は愈々獨逸と交戰狀態に入つたが今までの中立國としての獨逸といふ御客を無くして損であらうとは誤つた見解で實際に於いては米國は公債も起り

◆國の需要品 も多くなる……兵器彈藥などは實際戰爭に用ひぬとしても……當座の準備としてイザと言ふ時の補給の用意をせねばならぬので……米國は之から益々賑ひます、實際金が餘つて困るとは米國の事であらうと、聞く處に依れば日本にも大分個人としての

◆成金が出來 た相だが米國では工業組織が違ふから、自然個人としての成金は存外少いが、會社としての儲は莫大なものである、併し少いと言つても三百萬や五百萬の

◆儲をした者 は數多い、十數年前米國南部の或町の一人の百姓が一日でも宜いから百萬長者の生活をして見たい者と、以後十七年間殆んど飲まず食はず働き幸ひに今度の戰爭に

◆百萬弗の金 を贏ち得た、そこで先生紐育に出でウードロフアスターとて飛切りのホテルに一日三四百弗の部屋代で泊り込んだが自分一人丈けなので部屋丈けも廻り切れぬ、自動車も三四臺馬車も二三臺を雇つて見たもの丶一日に要る金は

◆精々で千弗 位のもの、それでも用意した金を一週間に使ひ果したとか、之が米國人の代表的性質である、今度金が儲かつても大抵は旅行に出るのが第一で、第二は贅澤な快走船及び自動艇の製作又は馬や自動車の買入れ避暑地の新築等に費す、其れが心ある老人になると比較的

◆公共團體へ の寄附をやる、又面白半分に見ねを張る者の中には百弗紙幣に『マッチ』で輕く火を點じそれから煙草に火を移して得意に哄つて居る者も稀にはある中で馬鹿々々しいのは彼の

◆奇想晩餐會 とでも言ふべき突飛な晩餐會である、以前ウオーカーといふ成金は騎兵晩餐會とてマジソン公園を一日二萬弗かで借り切り五百人の客を呼んで五百頭の馬を備へ客を夫々馬に乘せて其處へ

◆山海の珍味 を運ばせ馬上で食べるから兵隊式晩餐だと言つて喜んで居た、又グリーと云ふ成金は二十名の女役者を彫刻の女神の如く裝はせて食卓上に立たせ、二十人の客を呼んだ事がある、一體女役者を米國で呼んで

◆晩餐の席に 謠はせ樣とすれば一流で一夜一萬弗を要するが二十人も一度に一流を集め樣とすると役者の承諾を得るのが既に大金である一體に米國の成金の直思ふのは倶樂部員になる事である、中でもユニオンリーダの如き入會費五百弗だが

◆人員に制限 があるので中々入會が困難なのである、日本でも倶樂部員は追々認められて來たが米國では名ある倶樂部員たる事は財産以上の信用なのである

圖滿洲視察寫眞帖（九）（奉天二臺子關帝廟與泉寺）

▲豚の肋肉煮つけ 骨のついたまゝの豚の肋肉を求め骨のまゝで一寸角くらゐに切り沸湯に入れて五分間ほど湯がきその湯は捨て次に鍋に肉を移し肉を脹ふくらゐの熱湯を入れ荒切の葱と生薑を少々加へて二十分間ほど煮て葱をとりのけて鰹節、味淋、醬油、砂糖を入れて味加減をなし上に浮ぶ泡や脂肪を掬ひとりつゝ又火にかけて汁の煮詰るまで炙つけます此の料理は肉ばかりのところよりも骨の際にある肉に特有の美味ある上になか〳〵經濟的な御馳走でございます

明君道中記
第百十二席　田邊南龍口演

三代將軍家光公日光御社參に就き御供方は五萬三千人、皆それ〴〵に支度をいたす、中に大久保彥左衞門が御出立に就て上樣御前へ罷出で彥『恐れながら此度御出立に就て彥左衞門、日光樣伊賀越御難の時に多羅尾四郎左衞門方に御泊りになり、此時に召上つたる御勝餅是を彥左が獻じまする』と斯く申し上げて差上げたのは天正十年明智日向守光秀主君信長公を本能寺に於て討取る時に、

德川家康公が泉州堺に居りました故此をも討うと爲したるを早くも家康公察して美濃路へ向はれ御難を避け濱松へ御歸城遊ばされたる其の時を伊賀越の御難と稱へまする、其の節多羅尾四郎左衞門が差上げた御勝餅といふのを彥左衞門が差上げました、まるで煎餅の樣に薄く拵へて其の上に醬をかけたのを差上げましたから上樣大層お喜びになつて家『此は御祖父樣が伊賀越の御難の時に召上つた勝餅と稱へるは此品であるか』彥『御賞翫を願ひ奉りまする』取上げて召上つて見ると何うも鹽氣のみにて甚い物でございます、勿論其の筈で小米と糠米を等分にして是を二ッ合せたものを又それに醬を入れて搗上げたものでございます、おまけに其上に醬をかけたからまるで醬を嘗める樣なもので、家光公傍に居る皆川山城守を呼んで家『山城彥左衞門の拵へた勝餅を其方へ取らせる』山『ハッ、有難く頂戴いたしまする』家『其處で喰べイ』山『恐入りました』家『イヤ苦しうない、其處にて食せ』山『イヤイヤ御前にては恐入りまする』家『喰て見イ』山城守も度々の仰せ故左樣ならばと御免を蒙つてヒョイと口へ入れると、イヤ何うも醬の辛いこと堪らない、まさかに吐出す譯にも叶ず仕方がないやうなことで嚥下でしまつた家『何うじや山城、勝餅は好味であらうな』山『恐入りましてございまする』彥『勝餅が宜しければ彥左衞門より御上げ申さうか』山『イヤもう是にて澤山でございまする』悉くそれにて懲りたのが後に至つて家光公が柳の營の御難の時に召上つた時にお腹が空いて居ります故大層好美であつたと云ふことで、彥左衞門それをズッと此度御供をする大名に配つた、日光樣伊賀越御難の時に多羅尾四郎左衞門が差上げた勝餅彥左衞門是を製しましたによつて各自へ差上げると配つた大名方も彥左衞門がつまらん物を吳れたと思ふけれども貰はぬ譯にも叶ず皆受納めたが、然し返禮をしなければならない、早速大名方から返禮をいたしたので彥左衞門は大變に儲かつた、偖十三日愈御出立岩槻へお泊りになると、其の夜風雨劇しく大暴風雨でございまする、此方は與三郎隙て時機を窺つて居りました故此の暴風雨を幸ひ此處へ脫け出やうと思つて居ると、四ッの巡りドン〳〵雨の降る中を川村靱負少しも厭はず大勢を倖れて廻つて來た、其の巡りが去つてしまつた後で、與三郎職人一同の寢息を窺ひ雪隱の土臺下からやう〳〵潜り出し竹矢來を越したのは、素より大工のことで身輕故雜作もない、矢來を乘越まして雨の中を探御門へ參り與『鳥渡お願ひ申しますドン〳〵』此の叩く音を聞いて隣の喜三喜『畜生〳〵』又來やがつたな、如何だ繰什つて尾で叩くといふが惡戲ばかりしやアがる、見ろ汝何うするか』と戶口へ立つて來る表に立つて居た與三郎與『親分何うか鳥渡お願ひ申したいことがありますので開けて下さいませ』そつと來てがらり戶を開けました

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

無病長壽を希ふ人ありや
然して津村兄弟商會の
人蔘エキスを
知らる人あらや人蔘エキスに
親しまる方は一生健全也
京城本町一 電話一四八〇 津村兄弟商會

四月十三日 九星
舊曆二月廿二日 乙酉
本命七赤 西破 大安

▲七赤 爆動主義の事有る日新事見合 南方は吉 ▲八白 拍子よき日轉居開業入學名弘金件求縁談人寄業等萬吉 ▲九紫 一寸一ぱい喰はんとす注意新事手控荷事變は妨なし ▲一白 好況の日轉居入學金件名弘建新求職婚姻設定萬吉 ▲二黑 閉塞を流ひ新たに福を得る日萬道で利有り女子は一層よき事有り ▲三碧 ふと腐り勝の事有る日新事手控萬事は吉 女子は行儀を守るべし ▲四綠 一利一損の日なれど新事控目の方吉 萬事商賣は妨なし ▲五黃 造化精妙の日轉居入學行商名弘求職金件婚禮等皆吉 ▲六白 高位貴人の助を得て物事成就す [illegible]

株式名義書換停止
本月二十五日より五月定時株主總會終了の日迄株式名義書換を停止す
大正六年四月
東洋拓殖株式會社

電話開通
電話一六四〇番
京城黃金町一丁目
京忠自働車商會

期米
三丸山亮平商店
「富之みの」週報…南報…進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
電北 一〇〇四 一〇〇五 一〇〇六

ニセアカシヤ苗
山林果樹植物一切
大勉强販賣仕候
仁川杻峴驛前
北垣林之介

月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黃金町三丁目 山田しづゑ

京城壽町 電話五七八番 壽座
▲四月十六日から十日間午後五時開演
今樣能樂家元 泉祐三郎

京城本町一丁目 早川演藝部直營 有樂館
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
▲四月十日より寫眞全部差替 ▲喜劇生兵法 ▲新派教訓劇孝女 全三卷 ▲軍事大活劇雪中戰 全三卷 ▲舊劇大岡政談 因果小僧と雲霧仁左衞門 全八十五場の最大長尺

京城 電話一一九一 御成座
▲第七回蒸題 帝國之花 全十場
（俳優連名いろは順）伊井實、若月登、川上源郎、[illegible]

京城壽町 電話一〇九三 壽館
京山愛子一座一行 御名殘御禮興行 [illegible]

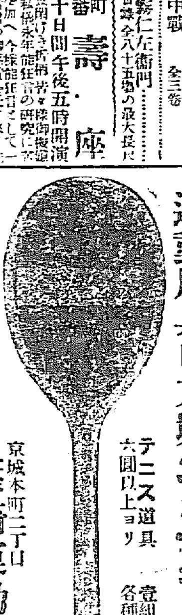
櫻井町 電話八七三 大正館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 [illegible]

演藝案內
明治町 電話二六〇 浪花館
女優吉田奈良女
大阪親友派評議員 ▲廣澤虎春特別出演
旭旗風（奈良二）須磨の浦風（大和）め組まとい（三笑）御前試合（奈良長）橘大尉（虎雄）景清誠忠錄（虎春）雪の階 豊川利生記二席（奈良女）

產科婦人科專門
中央婦人病院
京城明治町二丁目（元漢城病院下構通川崎大正商院前）
（手術室病室分娩室完備）
院長 電話二三四〇番

謹啓時下春暖之候益々御清穆奉大賀候陳者弊檢番義以御蔭日增繁榮に赴き候段之れ偏に四方御客樣方の御同情御引立こ奉萬謝候就ては開業一週年記念の爲め當る四月十三、十四、十五日の三日間壽座に於て藝妓芝居開催仕候間何卒倍舊の御同情を以て賑々敷御觀覽の榮を賜り度偏に奉希上候 匆々頓首
大正六年四月
新檢番

化粧用、洗濯用
角形石鹼 元祖 浦本石鹼工場
京城電話三三九四番 振替三三三九番

運動用具は京城シノザキに有り

テニス道具 一組六圓以上ヨリ 各種
京城本町二丁目 篠崎運動用具店

新案特許 第三三一八三號
下火ランプ
●養蠶家。工藝家 讀書家に最も適す

朝鮮全部特約及び專權製造御望の方は御相談に應ず
製造元 伊藤仁太郎
（見本として御入用の方は壹個代金[illegible]）

齒科材料並に機械
販賣 エム商會
陶齒製造 會主 宮地靜造
朝鮮京城本町三ノ八四 取次電話二五九七番

S印卷煙草用ライスペーパー 各種
右格安品入荷仕候ニ付多少ニ不拘御用命被仰付度候
營業種目 [illegible]
京城南大門通四丁目 駿府商會 電話二六一二番

時計修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

電話五七八番 壽座
今樣能樂 松竹會社專屬泉祐三郎社中 紫泉會
來る四月十六日より向ふ十日間日延なし每日午後五時開演
當地打揚の上は直ちに內地に引揚げ可申候

小笠原病院長實驗方劑

皮膚軟羔(ひふなんかう)

いんきん、たむし、くさ、がんがさ、なまづ、ひぜん、かゆみ、婦人局部、肛門の痒み、ただれ、凡て皮膚病の痒みに特効あり、皮膚病に加へて諸病の内攻を防ぐ皮膚の薬なり

定價 小 拾錢 中 貳拾錢 大 五拾錢 送費各貳錢

艶美羔(えんびこう)

にきび並にざくろ鼻の特効剤なり由来此種の薬剤は尠からずと雖も真ににきびを治せしむる効力ある者は本剤を措いて他にあらざるは愛用者諸氏の熱知せらるゝ所なるべし

定價 小 八錢 中 十五錢 大 廿八錢 送費各貳錢

本舗 大阪北久太郎町四丁目 振替大阪二二〇四九番 回天堂

肺病 肋膜等にてお惱みの方へ御知らせ

肺病に罹りしとて決して悲觀すべきにあらず該病必ずしも不治にあらず療養其當を得ば如何なる重患も決して憂ふるに足らず不肖先年肺患に罹り九死に一生を得たる實驗と多くの患者に就き研究したる結果に依り自宅療養法を共に効驗の調劑方法を明示せる冊子を全快者の寄贈により同病者に無代進呈す希望者は大阪市西區本田二丁目光泉寺藤井宗道宛ハガキにて此新聞名を記し速かに申込まれ熟讀療養の一助とされよ

大阪製圖學館

遞信工學製圖講義錄(遞信遞學規則要三錢)是非御一讀を乞ふ

大阪市西區本田三番町

古錢古金銀價格表

大增補 定價金五錢郵券代用

發賣元 大阪松屋町博物場北 家村書店 振替大阪二六二六〇番

朝日式製縄機現る 理想的天下逸品!

從來の機械は不完全なるを以て失敗せる方多く精良無比なる機械を得る事は困難に候處本機は多年研究の結果完全無缺の機械にして從來の缺點を悉く改良せり 照會は郵券二錢封入あれ

一郡又は一縣の特約を諾す

目下賣出しに際し破格割引の特點あり好期を逸せず至急御申込あれ

大阪西區南堀江下通三丁目 東條蓄音器製作所 製縄機部

大聲蓄音機大景品付大割引責任販賣

本機臺は縦横一尺一寸五分高サ六寸餘用材征樹四隅裝飾柱附最新式頗る美麗機械スタンダード特製原動器ゼマメッキの部分は鋼鐵製、腕金は美術黒色エナメル塗金筋入響傳管ニッケル製常に振動器取外し自由回轉盤十吋強壓力を以て壓搾しある鐵製盤回轉正確又蓋上のブレーキにて廻止自由にて音器はスタンダード式強聲頗る明瞭な喇叭花形ニッケル押出し八枚辨口徑一尺五寸餘、本器を從來廿圓にて販賣せし處大減價 拾參圓 附屬品B號機高直徑一尺五寸 喇叭七枚辨口徑一尺四寸用材及回轉盤は前記同樣從來拾七圓にて販賣しは大減價 八圓五拾錢 運賃荷造共各二圓

(堅牢保證) 望の方はハガキにて申込次第引換證附にて送る 不向の節は責任を以て無割引他品交換又は返金す

大景品 樂譜御好の品十種及替針二百本進呈 其他流行曲振聲御好の品十種及替針二百本進呈

特約 御相談に應ず

音譜目錄無代進呈 大阪市南區高津四番町 振替大阪貳四八六三番 發賣元 帝國蓄音機商會

麻製品一式

絹ロープーハ・モンツク 源平糸 麻玉糸シデ紐

大阪市北久寶寺町心齋橋筋 森田利助

電話東四九四七番・振替大阪二八六〇番

御用 最新式

各府縣警察署 金銀銅牌受領各博覧會 專賣特許 雛形定價表送呈

大阪中之島五丁目電話土一四六八 製造元 合名會社 河野商會

喞筒バルブ大革進

實用新案登錄第四一〇八號 清水式大正バルブ

ドは我多年の苦心研究に成りセルロイド及金網を煉合し強度の壓力を加へて製出し耐久力に富み完全無缺の逸品にして既に船舶及各工場等の御用命を博しつゝあり●非常の賞賛を博しつゝあり

大阪市西區本田通り二丁目廿一番地 清水增彌商店 振替口座大阪二〇八九八番

製造 日鉄書進呈 大阪西區 南詰雷車道 久保田榮器店

大正古錢價格圖鑑

古泉學道人編 和裝半紙本 全一冊 代價五十錢 送料二錢

大阪豊屋町八幡筋 發行所 虎倦護商店 振替口座大阪一九四二番

古錢口賣買

特價 純金延板指環五匁附 三圓八十錢 特價 18金包張指環十匁附 六圓八十錢 特價 眞正十二金含有入指環 三圓六十錢

大阪市西區江戸堀下通五丁目 伊原本店

強肺器

實用新案出願中 肺の弱き人は使用の効果卓絶 定價一圓送料八錢

大阪西區立賣堀北通二丁目一九 春陽堂 振替大阪三四八一九番

精米機 製縄機

詳細は寫眞入圖入説明書進呈 一郡一縣限り特約

少女にて貳斗(貳臼)を一時間に精白す

製縄機は大減價特賣中急申込まれ

大阪大正協西詰 帝農商社

各種水揚ポンプ

私設水道工事受負 材料及附屬品販賣

雛形定價表は御請求次第送呈

大阪中之島七丁目船津橋停留所前東 大内喞筒製造所

衛生サック 變形サック

男女閨房用 軟伸縮自在自由 價格 特製十二個五拾錢 六十個貳圓 並製十二個四拾錢 五個八拾錢

自製花柳衣(原名ルーデサック)品質は本堂特製品

大阪西區堀江御池通五丁目 寶文堂 振替大阪一二七七番

催眠術

幸福を與ふ

一萬圓を得るよりも一生の幸福を祈り現在よりも更に立身成功の出來る方を諸君は望んである。若し諸君が最近發見の心力波及術こと催眠術こを知つて居らば立身成功には大便益である。此術で病氣や癖を治し要情を温め商業に應用して大利を得人の心や行動を自由にし成功した人が澤山ある。「催眠術實驗説明錄」なる書籍は帝國神祕會究はがき申込次第本誌讀者に限り無代送呈す。

大阪市東區東雲町二丁目 帝國神祕會

世界の鶏種

本書は各世界に於ける鶏種の寫眞に説明を附せるもの也(此廣告を切抜き郵券參錢封入御申込あれば送附す)

園藝の栞

本書は園藝植物西洋草花類に就て説明及び種苗の方法等を記述せり(此の廣告こ郵券參錢御送あれば郵送す)

大阪市東區東高津北之町 務園事務所

巡査

看守受験者(募集)大阪本部

かくの如き方々

○あらゆる方法を盡して效なくニキビ吹出物色黒きに嘆く方
○上の如き色白く毒分なき紡様嬢様を作らんとする
○姙娠中の御婦人
是非美顏錠を召し遊ばせ

美顏錠

飲んで色白くなる

タカイクスリのヨクキク藥

色シロクシキメコマカに吹出ものを治す最新發見の請合藥 のんで皮膚を伸ばし 一週間より顯はれる

三週間分 一圓 九十日分 二圓五十錢

大阪北區 究美堂 振替大阪一九三三番

現代實業百科寶典

下の要求する最新商工業の智識ニ代式現經營法を營ろ本書を見よ

男爵澁澤榮一閣下題字●帝國實業協會編纂

出來る智識の寶庫!! 特價壹圓八拾錢(定價金貳圓參拾錢)

□現代實業百科寶典(▼)

發行所 大阪市心齋橋南詰東 名倉昭文館 電話南一〇五番 振替大阪二五六〇番

鑛石

鑑定及分析 大阪市北久寶寺町心齋橋 大阪鑛物研究所

金剛砂 各種砥石 ペーパー エメリー

大阪南區難波櫻川一丁目(湊町驛前西入) 籾山商店販賣所 電話南四千百八十七番 振替大阪三〇九〇三番

大阪府南河内郡磯長村字春日 採掘製造工場

ゴム底輕便靴

丈夫徳用足痛なく 學生吏員自轉車乗遠足旅行運動用及び勞働用に適す

特價 一足に付 六十五錢 甲品七十五錢

大阪南區瓦町四丁目 大賞堂 振替大阪壹貳六壹九番

筑前琵琶歌

水田旭也編著 曲譜 正調

春ノ卷 夏ノ卷 秋ノ卷 冬ノ卷 雪ノ卷 月ノ卷 花ノ卷 新曲歌 端歌

各定價三十錢 送料二錢

大阪 前田文進堂 發行 京城本町二丁目 日韓書房

流經新藥レスノリン

月經 流經作用

大阪北區曾根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

い病

にて御困りの方は ハガキで御通知あれば頗る良藥を御通知致します(見本共)

大阪市西區本田町二丁目 天正堂藥局

吹子

製造 定價表進呈 大阪九條中通三 龜井卯三衞門

國語漢文ことばの林

大隈重信侯爵序文 高田早苗先生題字 大町桂月先生監修

四六版總クロース製長六寸三分幅四寸三分紙數二千百五十頁(箱入) 定價 貳圓參拾錢 送料十六錢 特價 壹圓八拾錢

●忽五版●

本字典は文學界の大家大町桂月先生が心血を灑ぎ五ヶ年の歳月を閲して完成せり常識を發成する能はず本書に讀書するべからず

發賣所 大阪市東區博勞町四丁目 立川文明堂

中風 せきづい病

此病は患者自宅療法は多年の研究を經て大阪府病院の

川崎自療法研究所宛 病名記入申込

しんぞう病

心臓病にて胸に痛み覺ゆる人●動悸 呼吸苦しく又は呼吸切れする人●手足顏浮腫ある人●等永年同病にて困難の方へ効正しき家傳專門藥を分與す困難の諸氏は此の新聞名を記し往復端書にて申込あれ詳細に返信す

兵庫縣明石郡神出村 大津屋

◎致富の捷徑

カーネギー曰く、志を伸べ十年一日此の如く然らば其の富を得べし、一日又一日限りなき富を以て確なる安全方法を明にせん、作るあり

●責任信託賣買規定

一、本會は定期米の賣買に從事し…
二、…
三、…
四、…
九、…

大阪市東區北濱一丁目株式取引所南隣(電話長木局七六七番●振替口座大阪一九六九八番)(明治三十三年創立)

相場觀測會信託部

猪印食料紅各種

大阪西區京町堀上通一局前 西村食料色素卸商店 電話土佐堀二七二〇番 振替大阪一〇八一

落籍させる迄

忽三版

春本小米著 問題ノ本書現ル 最新刊 定價三十八錢送料六錢

可憐な薄命な纈紅の花の様な少女が紅い燈こ緑の酒こに落ちて情海幾多の大波小波に揺られ揉まれて、こうくめでたく或る思ふ人に引かされるの、嬉しさ悲しさ辛さ眞の戀もあれば浮氣もあり諧謔もあり諷刺もあり客の心理狀態藝者の手管の數々を赤い血の様な紫の煙の様な、萌黄若芽の様な文字で書いたものが即ち此の書です

近松傑作集

近松研究會編 大好評忽四版

ポケット形 金總クロース製美裝紙數五百餘頁 木版極彩色口繪寫眞版挿畫數葉 定價七十五錢 送料内地八錢

内容 翁の槪傳 所載項目 解題 ●天の網島●曾根崎心中●冥途の飛脚●夕霧阿波鳴渡●心中重井筒●女殺油地獄●淀鯉出世瀧徳●博多小女郎波枕●今宮心中●生玉心中

相思の炎

忽四版

燃ゆる相思の炎!如何に紅き事よ熱せる事よ 紅き炎は二人の心臓を染め、熱せる炎は二人の胸を燃やす 甘き情緒に醉ふ相思の二人を中心として描ける。興趣泉こ湧き流れて盡きず

最新刊 定價四十錢 送料六錢

發行所 大阪市東區南久寶寺町三丁目三十七番地 魁文堂 電話南四七六七 振替口座大阪三二四七九番

京城日報

第三版

四月二十日（夕刊と合せて八頁）

定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　郵稅一ヶ月金拾五錢　郵送に限り前金三ヶ月分二圓六ヶ月分四圓　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢　▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢　▲三號活字十二字詰壹行金壹圓六拾錢　▲六號活字廿一字詰壹行金七拾錢

發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯　三四五番　營業　三二六番　一二一四番　一六〇番　振替貯金口座京城三〇〇番

△十一日後場　△兵庫米廿六圓三十二錢東京十七圓〇六錢大阪前場十六圓六十八錢後場十七圓二十二錢二節七十八錢と高步りにて當地集中出來不申先十三圓十四錢と七錢高に寄付たるも賣物多く二錢と下這ひ

あるも●より月並ちたる賣物…より買物多く二錢と押し大阪の更に高步りに全●其他より買物多く四錢と返したる●氣勢益々…す一圓正米界も…見送りに高ナゲレ…へたると相場の伸力鈍きに賣物稍多く遂に一錢と押し辛くも二錢と歛合

▲㊐能く賣る　今日…より…りたる玉數七千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の買ありたるも注目を惹いたり

▲㊦能く賣る　…より買りたる玉數四千餘石

▲現物界　地廻玄米十一圓八十五錢より十二圓三十錢迄白米十二圓四十錢より五十錢迄玄米十二圓二十錢賣物…十錢高等にて四五百叺出來たり…賣入見送りにボンヤリ氣味と變じ

後場　寄　十三圓十四錢
止　十二圓十二錢
高値　十三圓十四錢
安値　十二圓十一錢

十一日の六月限

米國史上の一新時期　英國新聞論調

【倫敦特派員發】米國の參戰と大統領の宣言文に關する英國新聞論調は三日來の新聞電報に依り引續き當國公衆に紹介せられつゝある處從て一般の略條期し居たる所なるに拘らず今更の如く

△甚大の感動　を與へつゝあり（中略）ローニングポストは聯合諸國は極めて異國の誠情を以て本宣言を歡迎し今や北米合衆國を其の仲間に算ふるに至りたるを誇りとすテレグラフは吾人は吾人の供し來りたる犧牲を誇りとす而かも今や聯合國側の目的とする所に高尚なる認識を與へられたるを知るは我英國及び同盟國の更に誇りとする所なりマンチエスター、ガーディアン大統領の演説は吾人に執り開戰以來の一大勝利なり吾人は實に滿腔の誇と感賀を禁ずる能はず米國の參戰に依り

△戰勝は確保　せられたり勝利は遠からず我方のものたるべし吾人の胸中に重荷を卸したるの感あり之迄切言し其他の各紙も異口同音に滿足を表し居れるが更に本件の政治的意義に至りては大統領の演説は新なる主義の宣明にして之に對する米國々會の是認は米國史上の一新時期を劃するものなりとの主義たる一言以て之を掩へば米國は今後場合と相手の如何を問はず

△自由こ文明　の理想の支持防衛に完全に協同すとの事實の認識に外ならずモーニング、ポストはモンロー主義と獨逸の專横政治とは兩立せず『アドミラル、マハン』等先覺の常に其國民に警告したる所なり今や米國は其孤立政策を脫却し他の自由主義の國民團に入れりデーリー、メール今次の出來事は全戰爭夫れ自身を除きては實に佛國革命以來未曾有の大事件なり歐洲の大戰爭に於ける米國の參加が新舊兩世界に及ぼすべき結局の結果如何に至りては蓋し如何なる

△智者も豫斷　を敢てするを憚から所なるべく吾人は只今次の出來事は英佛は勿論亞細亞の中心に接せる縁國遂に至る迄有らゆる各國及び其人民の政策並に利害のみならず其國民的生活の動力たる思想と感情の上にも深甚の得響を及ぼすべく又恐らく南北亞米利加及び合衆國自身の人民に對しても叙上の方面に見て無限の接觸を來すべきを漠然感知するのみと論せり要するに米國の參戰は直接戰局の上に及ぼす影響以外更に廣汎

△甚大の意味　を伴ふ世界史上の大事件なりとは各紙の一致する所なるが如し大統領が普魯西軍閥專制政治と自由且民主主義なる邦國團の抱懐たる世界平和の維持とを兩立せざるを強調し露國の革命に同情を寄せたる一節は各紙の最も共鳴する所なるものの如く之れ實に現戰爭の信義を確認闡明せるものなり而かも露國にして若し

△最近の革命　に出るなかりしならむには大統領は恐らく斯く迄は言ひ切り得ざりしならむ露國が專制政體官僚政治の下に在りし間は米國人は本戰爭を以て國民的獨立と人民の自由確保を目的とするものとは承認し能はざりしなり露國人民に對するウイルソン氏の同情ある言は以て露國新政府の地位を鞏固にするに足るべしとて滿足を表し次にウイルソン氏の演説中獨逸人民と其の政府との間に區別を立て米國は獨逸人民と爭ふの意なし其の

△政府と戰ふ　迄なりとの一節に關してはタイムスは大統領の此の態度は恐らく政略上の見地に出づるものなるべしと推し他の各紙も之と同樣の見解を吐露し居れるが何れにしても米國今次の所決は自ら獨逸國内にも反應を及ぼすべしとは各紙の一致する所にして中には前述ウヰルソン氏の所言は獨逸人民とは平和を締結すべきも

△皇帝相手に　は講和せずとの意味なりと迄敷衍するものありデーリー、クロニクルの如きは其の一にして右は客年來同新聞の主張する所に符合すとて滿足を表しつゝありメールも隱約の間に其意味を諷示し居れり（四日倫敦發）

出發　準備完成す　大視察團

拾五日出發

會費僅に壹百圓

南北滿洲大視察團の準備全く成り會員も亦今將に豫定數に達せんとす。朝鮮側は貴族縉紳、日本側は實業家を網羅したる壹百有餘の團員が冬の蟄居より醒起朗かなる春の光を浴びつゝ南北滿洲觀光の首途に上ぼるのも僅に三日を剩す而已となりました。古都奉天の名勝舊蹟、解氷即下の營口の殷賑、貨香吐の雄大なる大連港、北滿の富を集むる長春、大戰亂の背景に大活躍の哈爾賓。猶二週の旅塵を洗ふには湯崗子の山！　五龍背の水！

廿九日歸著

南北　滿洲各地の　大歡迎會

斯の如き歡迎

奉天督軍公署内に於ける張督軍の歡迎午餐會に始まり奉天總領事館に於ける在留日本官民有志の晩餐會。大連では星ヶ浦公園に於ける鮮銀大連支店の歡迎園遊會。大和ホテルに於ける大連日支官民有志の晩餐會。更に滿鐵主催の歡迎午餐會がある。又旅順では都督府民政署より午餐の饗應があります。猶ほ哈爾賓と長春では日本官民有志の茶話會。撫順では滿鐵炭坑々務所よりの茶話會。猶奉天、大石橋間と旅順にて實戰將校の講話があります

歡迎會六回　茶話會三回

斯の如き優待

極東の交通機關（三）　黒龍州の道路

黒龍州の陸路は性質上總て馬車道たり即ち所謂郵便道と稱する大道なるも之を利用するには冬季河川の結氷橇路の固定するを待たざるを得ず概して該地の道路は惡路なれば夏時之を利用するとするも乾燥したる天氣を待たざれば能はず而して其數亦極めて少なしとす千八百九十年政府は道路開通の必要を感じ大藏省出納局に命じ黒龍州に黒龍馬車道（七五二露里半）を開設し次でブラゴウエシチンスク市ハバロフスク市間チエルニャーエワゼーヤ波止場間（一三九露里）の交通を撤け又沿海州にはオケアンスカヤ、聖オリガ兵村（四〇七露里）間ラズドリナヤ村ポシエツト灣（一八九露里）間又ウスリ鐵道沿線ハバロフスク市ニコリスク、ウスリースク市（六五〇露里）間の假道路等を布設したり然るに目下此道路中僅に貨物運搬に任ずるもの只一のチエニヤーエフ市ゼーヤ波止場間の道路あるのみ此道路は移民局に於て毎歳修繕を加へ之れが維持を講ずるに依り今も漸く使用に堪ふれど其他に至りては全然荒廢に歸し殆んど其痕跡を留めず甚だしきに至りては道路變じて河流となれり要するに開通工事の粗末なるを顧みざるの二者遂に現時の慘狀を呈するに至れるなり又道路中稍や商業的意味を有するものは僅に金鑛に通ずる道路（約五十露里）あるのみ然し目下金價の振はざるに從て之れを使用すること極めて少なく道路は逐時破損の傾向を呈し居れり又移民局は最近十年間多額の資本を投じ移民用道路を開鑿したれども其の延長技術條件等商務用道路に適せざるもの甚だ多く目下是又廢棄の窮狀にあり千九百九年より千九百十年に亘り政府は一方黒龍鐵道に沿ひ他方尚（シルカ）黒龍江兩河より黒龍鐵道に至る道路を開鑿し之を稱して假道路と稱し貨物及び自動車の運搬及び往來に供せり然るに最近一年間政府之を放棄して顧みざると當地方特有の氣候は忽ち道路に破損を生じ今や殆んど荒廢を存せざるに至れり又移民の私費を投じ布設したる私道、又道路の如き孰れも既に乾燥時にのみ使用すべく其他は利用に適せざるなり要するに極東の交通は水路に因るの外なきなり即ち水路の利用は夏冬共に差支なく只氷塊浮流の時期のみ一時停止すれば可也

日報詩壇

○燈下水仙（限韻）　古城　梅溪
燈前相伴費吟安。憐汝風姿與我寒。不共群芳爭媚態。好將淡白助清歡。
○道骨仙風黃玉冠。不關窗外雪珊珊。誰知貧屋閑清福。一穗燈前伴歲寒。
評曰　二首精巧幽秀寓意深遠

○謝贈梅花　小永井槐陰
惠贈江南第一枝。紙中疎影欲催詩。暗香忽動孤山夢。隻鶴飛來賦月時。
評曰　清徹婉逸無煙火氣

○雪中探梅　木田　芳洲
微雪催詩興。尋春遠出城。吟過斷橋畔。流水送琴聲。四顧無塵影。瓊瑤敷地消。脈脈風香導。仙禽著意鳴。遊不盡。寒梅倚竹橫。疎能如霞散。翠禽能照人明。氣韻尤高潔。逸趣謝纖戍。的賞心吟且酌。灑灑一瓢傾。酣醉忘歸處。月來更有情。
評曰　妙手模景、使人忘在塵區

●二少女の誘拐　大連で捕はる

…西千代（一九）の兩名が内地より渡鮮したばかりの田舍者にて龍山に奉公口を探し居れるを見て兩女を欺き三月二十六日仁川發の伏見丸にて大連に…き爲め船員に…たるを見て取敢へず兩女には…加へ森、稲田兩名は目下大連…にて取調中（大連）

五月限　一萬六千二百五十石
六月限　一萬五千二百五十石

法人登記公告

麻田地方金融組合登記事項變更　監事金重演八大正六年參月貳拾六日辭任ス
右大正六年四月七日登記
京城地方法院　漣川出張所

競爭入札購買　朝鮮總督府遞信局
一、八三心ヱナメルケーブル（碍子二限）
詳細四月十一日ノ本府官報ニ在リ

上京中の處本日歸院致し從前の通り診察に從事致候
二宮產科婦人科醫院　二宮亮吉

最新刊

書名	著者	定價
大字典	上田萬年外四名	特五、五〇
增補訂正濱和大辭林	芳賀矢一	特一、三〇
最近の南	井内善次郎	一、四〇
新編肥料學全書	吉村清尚	三、〇〇
一家經濟生活法	加藤美侖	一、二〇
所有土地臺帳	松本恒吉	一、〇〇
潜水艇と潜水戰	伊藤正徳	一、六〇
修養第一	加藤玄智	一、二〇
蘇詩選詳解附詩源	土屋弘	一、〇〇
正しき證書の書き方	安部道	九〇
讀臨一覽		同
田尻博士講演集	江森泰吉	九〇
安全生活	橋本弘	八〇
古人に學べ	掘川如風	一、四〇
禪のはらわた	菅原時保	八〇
漱石警句集	重山	八〇
千葉心	中米山露花	九五
最新英語商業書翰文	徳永	六五
哲人高山樗牛	西宮藤朝	一、〇〇
八	重田山花袋	四〇
路傍の小舟	黒岩淚香	一、四〇

京城本町一　大阪屋號書店　電話

文學士寺田精一先生監修
五月號
トモダチ
美しい繪と面白いお伽噺が滿載
◎（手工附錄）活動キヤウサウ

鑛山用測量器械

鐵鋼

法律書籍目錄
附錄　法律研究案内
無代進呈　法律書專賣　東京神田今川小路　淸水書店

▲技術巧妙
ミカド自轉車店
京城南大門通四丁目（電話一一二七番）

五月號出でたり
幼年の友
仕掛付の表紙　小鳥のお土產
おこぎ唱歌　遊戲應用渡し船の歌
宇治の茶つみ　ほろ引き競馬　籠屋さん　疱瘡の神さま　ふしぎ問答　お伽理科　繪晰神功皇后　おも白い懸賞　犬公能
一冊拾貳錢郵稅貳厘
東京市京橋區南鍋町　實業之日本社

S.S.S.
發賣資金附の萬年筆はサンエス！
ペンのすべり好く　インキの流出好く　耐久力著大で　無比の廉價
十四金ペン一圓廿錢以上種々
全國到處の文具店に有り
目錄御申込次第進呈
東京馬喰町　サンエス本舖　細沼淺四郎

◎米國公債發行案提出
三十億弗は聯合國への貸付金

民主黨の諸領袖は十二日を以て公債五十億弗發行案を提出すべし右金額中三十億弗は聯合國への貸付金にして殘額は米國の軍事費に充てらるべし尙聯合國に對し食糧及び軍需品輸出の便を圖る法律をも制定する筈なり(華盛頓電報)

◎露國自由の防備に努めん

ペトログラード來電=司法長官ケレンスキー氏は曰く政府は近日中宣言を發して露國は土地の獲得を行はず專ら今回獲取せし自由を極力防衞せん事を宣明せん(華盛頓電報)

◎協商側加入問題討論

十日の參議院全院委員會は出席者九十餘名先づ外交總長より米獨開戰の經過狀況を說明し次で討論に移りたるが中には支那は協商國側に加入すべからずと主張する者あり又政府の方針を聽取したる後決すべしと言ふ者あり或は每週一回全院委員會を開き外交の方針に就き調査せる所を聽き衆議院とも意見の交換を爲すべしと稱ふる者ありしが結局何れとも決せず閉會せり(北京特電)

◎英軍春季戰大に優勢
戰鬪益々激烈=英軍士氣旺盛

英軍總司令部附路透通信員は九日報道して曰く『同日は我軍に取り有利なる戰線に進みたり而も我軍は著しく前進せり捕虜の數甚だ多く列を作りて後方に輸送せられたるが殆んど際限無し戰鬪は愈々激烈の度を加へ來りたるも我軍は豫定の作戰に從ひて進展しつゝありアラス附近に於て敵の抵抗激烈を極め我軍の包圍を受けながらも尙其陣地を支へつゝあり我軍の士氣は何れの隊にも益々旺盛なり』終りに通信員は其所信を約言して曰く『英軍の春季戰は最も上首尾の形勢にて開始せられたり』(倫敦電報)

◎英軍敵陣地を席卷す

九日夜ヘーグ將軍發公報に曰く戰鬪は豫定の作戰に依つて進行中なり我軍は到る所敵の防備線上にて敵陣地を席卷す尙鐵條網を以て嚴重に備へられし塹壕を奪取せるに止らず更らに前進せり捕虜の點呼塲を通過せる者既に五千八百十六名を數へ點呼未濟の者尙多數あり(倫敦電報)

◎英軍、前進又前進

公報に曰く英軍はヘニオンサーコジュールよりギウンチーに至る戰線に於て二乃至三哩の前進を爲し尙ほ進擊を續け居れり加奈太軍は有名なるヴィミー山脊を占領せり(紐育電報)

□昭憲皇太后 御三年祭

十一日は昭憲皇太后御三年式祭に就き宮中皇靈殿に於て午前九時三十分嚴かなる御祭儀を行はせらる定刻に至るや 天皇陛下には親しく御玉串を奉られ御拜御告文を奏させ給ひ次で皇后陛下御代拜次に各皇族同妃殿下の御拜に續き文武大官華族等順次禮拜あり斯くて御親祭を終らせられ給へり(東京特電)

◎皇后御代拜

皇后陛下には御都合に依り十一日御執行あらせられし昭憲皇太后御三年式祭に左の如く御代拜仰せ付けられたり(東京特電)

掌侍 吉見みつ子

◎檢事正復職

露國革命の際天津に落延びたる哈爾賓地方裁判所檢事正スルジコフ氏は過回哈爾賓總領事テラウトショルド氏の奔走にてイルクック裁判所檢事正に復職する事となり去八日當地通過哈爾賓に向へり(長春特電)

●北滿洲より

[illegible]本金に對し年五割の配當を爲すの好況なりしを[illegible]たり依て李道尹は直ちに秘密探偵[illegible]き嚴重なる監督をなすべき旨命令し執行委員會は同哈爾賓幹部に電命し[illegible]各官吏の月給及俸月十五日に[illegible]突然西部方面なる『ストホド』河附近の露軍の大襲擊を爲し來り露軍は多[illegible]五狙擊隊師團の如きは最も慘憺を極め[illegible]團一個聯隊中右翼に退却し[illegible]山東省招遣及び[illegible]地方には[illegible]

●滿洲交代兵通過

十日午下士以下二十二名通過せり

◎米外務省員渡鮮

米國外務省より露都駐剳米國大使館へ派遣のポールホーチュア、ジョンス氏は或重要任務を帶び十一日朝下關發關釜連絡船壹岐丸にて渡鮮露都へ向へり(門司特電)

◎後藤內相著神

十一日朝神戶に著せる後藤內相は市長及び郡長に訓示を爲し次で講演會に臨みたるが一泊の上十二日京都に赴き十三日大阪に來る豫定也(大阪特電)

◎藏相文相來往

十一日朝東京を出發せる勝田藏相は十二日午後二時入洛すべし尙岡田文相は十一日京都通過鳥取に向へり(大阪特電)

◎安東總督著京

安東臺灣總督は安井副官木村秘書官等を從へ十一日午後八時三十分東京驛著翌十二日參內 天機奉伺後寺內首相を訪問する由(東京特電)

◎本年府道路豫算

京城府內道路の內從來一、二等道路は國庫の補助三等道路は道地方費の補助等外道路に於て始めて府費を以て維持修繕しつゝありしが本年度新豫算に依れば經常部に於ける一、二等道路一萬九千七百七十三圓三等道路一千九百八十四圓餘等外道路一萬七千九十九圓餘及び臨時部に於ける一、二等道路五千七百二十七圓三等道路千二十八圓餘等外道路六千百九十二圓餘を計上せり尙此れを前年度に對比せば經常部臨時部總計に於て約三千七百卅圓の增加を示せりと

◎鵜丸回著期

大阪原田造船所に於て建造艤裝中なりし總督府水產試驗船鵜丸は近く竣成を告げ船具漁具等の取り付けも亦た全部完了せるより一兩日中に同地解纜釜山に廻航す可く同地回著の上は豫定の通り海洋觀測、水產物分布調査、魚撈試驗並に漁業取締等の諸任務に服すべし

◎朝郵株主總會

朝鮮郵船會社の大正五年度下半期の決算を附議すべき株主總會は目下の所にては原田社長十二日歸京の上十四日重役會議を開く都合となり居るに付其後總會召集通知を發し二週間を經るを要するに付多分二十九日頃開會の事となるべし

◎鐵道運賃改正

特定大貨物鐵道運賃左記の通り改正され五月一日より實施さる

▲皮屑

發	線	姬路	神戶	大阪	東京
永登浦・南大門・仁川發	局線	二八九	二八九	二八九	二八九
	院線	四五七	四六〇	四六〇	八四五
平壤發	局線	四四九	四四九	四四九	四四九
	院線	四九七	四六〇	四六〇	八四五

▲牛骨類

發	線	大阪	關門	東京	長崎	鹿兒島
南大門・仁川發	局線	二八九	二八九	二八九	二八九	二八九
	院線	四六〇	二二八	八四五	三七八	四〇八
平壤發	局線	四四九	四四九	四四九	四四九	四四九
	院線	四六〇	二二〇	八四五	三七八	四〇八

▲牛皮 南大門・仁川發

線	關門	廣島	姬路	大阪	東京	唐津
局線	三三七	三三七	三三七	三三七	三三七	三三七
院線	二二八	四一五	四五七	五〇〇	八四五	三七〇

▲牛脂 南大門・仁川發

線	關門	廣島	大阪	東京	長崎
局線	三三七	三三七	三三七	三三七	三三七
院線	二二八	四一五	五〇〇	八四五	三九五

◎京畿畜牛狀況

京畿道昨年中畜牛頭數は十二月末日現在十萬四千二百一頭にして前年度に對比せば約二千頭の增加を見たり尙性生牛の出市場數は十八萬二千八十三頭にして賣買頭數三萬九千百八十七此の價格百二十四萬六千四百四十二圓なり又犢牛の市場に出しもの八萬七千百七十頭內賣買頭數二萬四千八百八十七此の價格二十七萬千百五十三圓の多きに上り屠殺數七萬四千九頭斃死八百九十二頭出產二萬二千九百三十五頭撲殺二頭の割合なりと

◎鮮銀臨時總會

朝鮮銀行に於ける新株募集に關する事項を報告する爲め召集を要する臨時株主總會は多分來る六月八日頃東京に開會の都合となるべし

◎立花中將歸期

師團長會議列席の爲め東上中の立花第十九師團長は來る十八日歸任の豫定なりと

◎池田長官歸期

母堂不幸の爲め東上中の池田遞信局長官は月末歸任の都合なる旨或る筋へ通知ありしが事務打合せのため過般東上せし神田遞信局副事務官も帶同する事となるべしと

◎岡本參謀長東上期

岡本第十九師團參謀長は東京に於て開催さる可き參謀長會議出席の爲め來る十五日龍山發列車にて東上の筈也

◎法政校友會の招宴

法政大學校友會朝鮮支部に於ては同大學學監法學博士乾政彥氏の入京を機とし十二日午後六時三十分淸華亭に於て校友會を兼ね饗宴を開き同博士及び開城警察署長より警務總監部勤務に榮轉せる岡本警視同じく調査局監査官に陞進したる岡村政治氏を招待す可し

◎煙草耕作人賞品

來る十七日京畿道龍仁郡及び廣州郡の二部より成れる煙草耕作組合に於ける模範耕作人十九名に對する賞品授與式を龍仁郡廳に於て擧行道よりは商品見拔師出席すべく又同日は總督府より技術員出張して煙草耕作改良に關する講話ある筈なり

◎安州經濟狀況

三月は例年閑散期として商況一般に沈靜不振の狀況にして殊に金融の需要起らず金融緩漫を極め而して金利に變化なく四月に入らば農繁期となり幾分需要資金の需用を見るならん其他は當分資金の需用は起らざるべし輸移入品にありては綿糸布類は內地に於て原料騰高に依り價格上昇しつゝあるも安州地方にては不買の爲め相場持合ひ或は幾分下押への氣味にて物によりては內地相場に比し四五圓の下位にあるものあり又穀物は相場保合の姿にて荷動きは只搬出物一途にして相當の賣行きあり平安農工銀行安州支店三月末預金現在は六千五百八十七圓にして前月に比し四七〇四圓の增加貸出現在三七四〇五圓にして前月に比して九五一圓の減少を示せり(平壤)

◎朝鮮醫師試驗施行

朝鮮醫師試驗は愈々來る二十日より總督府醫院內に於て施行さる可く今回の受驗總員は廿九名にして內內地人十七名朝鮮人十二名あり

▲試驗科目時間割 第一部試驗(第一日)二十日午前物理學午後解剖學(第二日)二十一日午前生理學午後化學二十四日午後試驗成績發表第二部試驗(第三日)二十五日午前病理學午後外科學(第四日)二十六日午前藥物學午後內科學二十八日午後試驗成績發表第三部試驗(第五日)三十日午前眼科學午後產科婦人科學(第六日)五月一日午前衞生學午後臨床試驗 即ち臨床試驗日割は追て之を定むべし

▲受驗者心得 一、四月二十日午前十時總督府醫院內に於て試驗開始に付り同日午前九時迄に同所に出頭する事二、試驗中內地人は洋服又は袴を着し朝鮮人は相當服なる事三、答案紙は交付するも毛筆又はペンを以てする事四[illegible]五、試驗開始前迄に京城に於ける宿所を警務總監部衞生課に屆出づる事

▲醫師試驗分擔科目 物理學吉本委員化學兒島委員解剖學久保委員生理學佐藤委員(以上第一部)病理學稻本委員藥物學兒島委員外科學莊委員內科學及產科婦人科學藤井委員衞生學金杉委員(以上第二部)眼科學[illegible]佐藤委員富永委員(以上第三部)

□上海より 韓相龍 (二)

當港の貿易は一年五億五千萬兩(日本貨換算約八億圓)就中純外國貿易は四億兩にして、支那對外貿易の約半分を占め居り候。日本人は一萬二千を算し、外國人中に第一位を占め、尙年々增加の勢にて候。帝國の勢力は、あらゆる方面に日を逐ふて增進され、實に愉快と存じ候。外國人の神經が過敏となり來れるは無理もなき話に候。當地には鮮人も數百人在留す、本夕其主なるもの十數名を、日本人倶樂部に招待し、有吉總領事を始め、帝國の官憲及び銀行會社の主宰者の御同席を乞ひ、一々御紹介申上候。外國に於て、內鮮人官民食卓を同じうして、和氣靄々の裡に歡談するは、無上の愉快と存じ候。當地の氣候は漢口より稍遲れ、楊柳の如きは未だ綠色を吐かず候。(三月三十日)

◎支那遍歷
中島生

漢口三日(第一日)

上海より短信を以て、漢口以來の行動を告白可致候。此の旅行見聞する所甚だ廣汎に亙るが故に、詳密なる旅行記は、一應歸社の上、改めて筆を執るべく候。

扨說、三月十九日は長江の上より漢口に著し、午前中は歷訪に費やし、其日の午後三井物產の井上氏の案內を煩はして、武漢の地を視たり。三菱碼頭より汽艇を驅りて、長江を少しく溯る、右は漢口並に漢陽、左は武昌也。先づ漢陽に上陸して、日信洋行の棉花工塲を視、夫より漢陽の鐵廠に到る。鐵工塲は大別山下に在りて、大冶の鐵山萍鄉の炭鑛と共に漢冶萍煤鐵公司の經營に係る。工塲の歷史は、我が枝光製鐵所よりも古く、既に二十餘年の歲月を閱せり。規模は枝光より小なるが、設備は相當に整頓し活潑に作業しつゝあり。但だ今日の時勢に、未だ大したる儲けなきは、稍怪しむに足るべきか。大別山、晴川閣は倶に漢陽に在り。山は要塞となりて半腹以上に登るを許さず。閣も亦兵士駐在して入るを許さず。汽艇にて江を橫ぎり、對岸武昌の黃鶴樓を見る。樓は江に臨み、景勝の地を占む。然れども今は舊觀を毀じて、多く見るに足らず。乞食の多きと、仁丹の廣告とにて、俗化し居れり。漢口に歸りて三井の豚毛工塲と桐油工塲とを見る。

漢口三日(第二日)

二十日、午前、瀨川總領事を訪問して、懇切なる示敎に與かり、且つ其の紹介を以て、午後は湖北省經營の所謂四局を見る。四局とは紡績官局、紡紗官局、織布官局、製麻官局を謂ひ、武昌に在りて、支那側經營の工塲としては頗る大規模のものたり。鐵廠と同じく、故盛宣懷氏と頗る緣故深し。官營なれども、今は蔡興有限公司の承辦になり、職工五千餘人を使用せり。

此夜正金銀行、臺灣銀行、住友銀行、聯合にて料亭翼宮に招待せられ、水津、草刈、松島の各支配人外諸氏と寬談の機會を得たるを喜び申候。

漢口三日(第三日)

二十一日の午前は三井物產の野平支店長を訪ひ、數刻間談話を交へ、午後は日淸汽船の角田支店長を訪ひ其の談話を聽き、其より漢口市中を見物仕候。

夜は瀨川總領事の招待にて日本人倶樂部の定例晩餐會に出席し、在漢口官民有力諸氏と卓を圍んで會食會談致し候。此日端なくも、村瀨次郎氏の來漢せるを知り、即ち相會して手を握り、久濶を叙し候。村瀨氏はもと朝鮮鐵道局に在りて、昨年通運會社に聘せられて東京に去り、昨今多より鐵道院の囑託として支那鐵道調査の爲め、長く各地を旅行中にて、院の芳賀副參事と同行せしが、芳賀氏不幸天津にて不歸の客となりし爲め、今大藏男と共に調査を續行せる也。漢口より京漢線を詳細に視察して北京に赴かんとする途中なりと云ふ。四月中には京城を通過して東京に歸る由にて、此の通信中特に京城に於ける同氏の御存じ寄りへ內報仕置候。

し鐵道現業員慰藉及び敎導に關する調査を囑託せりと

◎飯塚主計正出發

陸軍省經理局に轉任せる朝鮮駐箚軍倉庫長主計正飯塚唯助氏は家族同伴十二日午後四時四十分龍山驛發列車にて東上赴任の途に就くべく尙後任陸軍主計正與田角四郎氏は二十二日頃著任の豫定也

人事消息

▲朝日直氏(漢口武林洋行員) 十一日夜入京朝鮮ホテルへ
▲川部部茂平氏(京都增場社員) 十一日夜退京
▲早川昇作氏(實業) 同上
▲原虎太郎氏([illegible]) 十一日朝退京
▲坂口揚三氏(前代議士) 同上
▲中村辰五郎氏([illegible]) 十二日朝退京の筈

南言北語

米國では大急ぎで五十萬の陸兵を作ると云ふが此の兵を歐洲に送るか何うかは未だ疑問だ▲若し之を歐洲に送るとすれば島渡計算しても六千噸級の汽船が二百五十隻要る▲英國は曾てアクタニヤと云ふ五萬噸の船へ一師團を一度に積み込んだ事がある▲然も人馬計りで大砲も軍馬も乘せなかつた▲積みの附屬品や軍隊の要する武器や軍器を積み込むとすれば一師團には先づ六千噸の船が十隻は要る▲之が二十五師團五十萬とすると二百五十隻要る譯だ▲イヤ米國のやり方は兎角大袈裟だから或は之れ位の事は朝飯前の仕事かも知れぬ▲其れもさうだと米國は一擧にして分捕た敵船の數でも八十八隻六十萬噸もあるから其れを使用すると何の事はない▲百弗の紙幣をマッチの代りにして煙草を吸つて居る連中のやる事だから他國の企て及ばぬ事をやるのだらう▲併し其れ丈け敵に向つては偉大な威嚇になるから或は此處等が眞の平和論者の平和手段かも知れぬ▲日露戰爭當時日本海軍が首途の途中に捕獲したのがロシヤと云ふ敵の船であつたので幸先好しと勇躍した事があつたが▲今度米國が開戰決議劈頭に押收した獨船の名がファテルランド(祖國)と云ふ獨逸國と同名の巨船▲其れから普國歷代の帝名例へばカイゼルウキルヘルム二世、バルバロッサ、フリードリッヒなんか云ふのが澤山ある▲ハンブルヒ、ライン、コブレンツ、ベーメン、ザクセンなど云ふ獨逸國名や地名も澤山ある▲云はゞ獨逸全體を擧げて米國に差し上げたも同樣だから米國人の元氣の好いのも最も千萬▲女學校敎育の非常識的なのも今に始まつた事ではないが▲犬養木堂と云ふ問題に對し犬を養つて置く小舍だと奇拔な答案を出した有名な話もある▲此の間某女學校で『解散』と云ふ事を諮問したら誰れも滿足に答へず▲唯一人稍正しい答をしたものがあつた▲處が之れが前代議士の娘であつた相な▲但し之れは朝鮮ではないから御安心

營業品目

肥料部
蒸製骨粉、乾血、蹄角粉
星印配合肥料、細工用地骨
細工用蹄角各種膠及膠原料

石鹸部
化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸
牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、骨粉製造、其他

京城東大門外紅葉町
朝鮮肥料製造所
電話二六三五番

京城西崎町一四番地
朝日石鹸製造所
電話二五六四番 西電話九七三番 振替口座京城一〇〇四番

朝鮮總督府屬 朝鮮總督府高等普通學校講師 普成法律商業學校講師 西村眞太郎著
朝鮮語會話
定價金八拾錢 郵稅六錢
受驗者必携の資料◎袖珍總クロース四百頁頗美本 江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尙要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最親切なる解說者たり是非一本を備へられよ
賣捌所 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、貨、金巾、燐寸、石油、洋燈、
澁茶、紙、蛇物、罐詰、ビール、サイダー、清酒、醬油、染粉、足袋、其
他一切日常必需品
割の安い品そろいの
大おろし店
仁川本町
河野本店
電話二八一番 振替京城一二一番

卓絕ナル呼吸器病新藥
レスピラチン
本新藥ハ坪井、緒方、佐多三醫學博士等ノ實驗證明セラレタル最新藥ニシテ肺結核、格碌布性肺炎、慢性氣管支炎、流行性感冒、喘息、百日咳等ニ奏効顯著ナル藥劑ナリ
特約店 東京 三共株式會社 武田長兵衞 中村合資會社 大阪 乾保之助 小野市兵衞
定價 [illegible]
大阪東區內平野町二丁目
合資會社 大阪化學硏究所
電話東三六八〇七番
說明書進呈
新藥 ヨヂシン軟膏 [illegible]
梅毒新藥 ヨヂシン [illegible]

資本金壹百萬圓
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
京城 株式會社 漢湖農工銀行
支配人 遠山熈
支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

攝津灘 大塚釀造所吟製
京城本町二丁目
發賣元 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五番

…年度の…歳入一千百七十一萬五千四百留總支出九百〇六千六十一留たて純利益二百十萬留なり拂込費…

…の今日支那內地に散在せる獨人にして暴動を企つる者あるやも計り難く是を未然に防ぐべく獨人の行動に付…始したり

▲官吏月給前拂

露都新政府

●西部露軍大敗

露都發公報に據れば去る三日獨軍は…の激甚なりしは同岸左岸設堡地點防禦の任に當れる左翼隊にして就中第…報告に依れば此戰闘に於て最も損害…も其生存者は僅に百名に過ぎず

●山東匪徒蜂起

(哈爾賓電)

…して農民を煽動し甚だ危險なり該黨裏面の謀主は獨逸人にて多大の金錢を散布しつゝありと(哈爾賓)

…向け通過せり▲十一日午前九時十分南大門驛發列車にて滿洲守備交代兵として步兵第二十二聯隊附將校一名

●露都革命實見記　―三―

◇天に冲する凄まじい大紅蓮
◇恐ろしい拳銃團に闖入された

露都にて　小田柳翠手記

○三月十二日(月曜日)

◇午後の市街戰は益々猛烈となつて來た、街の各方面から起る銃砲のはためきと呼喚の聲!!全市は今や修羅の巷と化し砲煙の渦に鎖はれて居る街を通る者は總て革命軍の者のみである、夜に入つて砲聲が稍々下火となるやニコライスキーの大廣場には革命黨の群集が鬨をつくつて押し寄せた、ウラー!!〳〵!!の聲が天地を震撼して居る、蓋し砦からの市街戰に革軍が全勝を占めたのであらう

◇突然火事だ!!火事だ!!と唯事ならぬ聲がする、見れば自分の宿から二丁許りのネヴスキー警察署が燒けつゝある、凄まじい火焰が天を舐め宿の露都を燒きつくせと許り渦卷いて居る

◇此の騷動の眞最中突然二三の兵士が銃口に赤布をまきつゝ革命旗を押し立てた革命派の婦人五六名を伴うてドヤ〳〵とホテルに入り込むだ、彼等は支配人を呼び出して食糧品の提供を命じ食物は殘らず引揚げて行つた、さて二百三四十の客室を有する此のホテルは何うしてお客を賄ふのか、心細さの限りである

◇窓から見ればネヴスキー署の凄まじい火焰は炎々天に冲してお向ひのセウエルナーヤ、ホテル及びニコライスキー停車場の硝子窓は紅蓮の炎が映つて居る、廣場の群集は幾度となくウラー!!〳〵!!を連呼して居る聞けば一萬五千の兵士は擧つて反すが如く革軍に投じたこので軍隊を指揮する士官の中には大學の制服著けた青年や帶劍の女學生なども混つて居る

◇革軍の勢力が偉大なので官兵はいつとなく消ね失せたがさて電信も電話も新聞もない、されば何と云つて三十六計の奧の手を出さうにも汽車が無い

×　×　×　×　×

○三月十三日(火曜日)

◇朝の未明自分の部屋のドアをけたゝましう敲く音がする、何事ぞと寢卷のまゝで跳ね起きてドアをあくればこは又意外!!拳銃を手にせる兵士がいきなり銃口を鼻先きにつきつけた、續いて後ろの方には一二尺餘の長刀を引拔いた兵士がニユツと起つ、彼等は無言のまゝで寢臺から押入れから限なく探して別段亂暴もせずに引揚て行つた

◇午前八時頃赤旗を押し立てた自動車が廣場の群集へ號外をまいて行つた、それは革軍の機關新聞の第一號であつた、その大要は自黨の大成功を報導し昨夜十時若干會は停會されて革黨首領ロヂヤンコ氏(下院議長)を中心とする下院臨時施行委員十二名を選出し臨時政府を樹立したといふのである

◇そして獨逸との戰爭は最後の勝利を占むるまで繼續すべし、市內の秩序は出來得る限り迅速に回復せらるべし、交通機關の保護、食料品、飲料水等は全責任を以て充分なる供給を爲すべし、大本營なるニコラス二世陛下にはロヂヤンコ氏の名を以て我黨の主張を絕對に容れられん事を打電したりとある

◇さては今朝來たピストル團の行動も此のホテルに下宿する官兵士官の武器押收の爲めであつたと解つた、勝てば官軍、敗くればまた賊、いやはや露都は革軍の天下となつて了つた(つゞく)

●張督軍の初孫祝ひ

奉天空前の盛觀を呈す

十日催ほせし張督軍の孫祝は來賓二千餘名に達したるが督軍は公署內に於て三日に亙りて大饗宴を開き各地より有名なる俳優を招きて支那芝居を演じ奉天空前の盛況を呈したり(奉天特電)

●大佛殿に亞ぐ大工事

吉野藏王堂の修繕

海拔千二百五十尺の高峰にある吉野藏王堂は五箇年繼續にて大修繕を爲す事に決定したるが此の工費九萬圓大佛殿に亞ぐ大工事なり(大阪特電)

●吉野山の老樹に白蟻發生

櫻花の名所として聞ゆる吉野山の老樹に白蟻發生せしを以て岐阜市名和昆蟲研究所長は九日同地に赴き防腐劑を施せり(大阪特電)

●日獨戰記念館

今秋十月竣成

侍從武官府に保管中なる陸海軍兩省より献上の日獨戰役戰利品たる大砲小銃、鎗、魚形水雷各種兵器其他及び我死歿將卒被服寫眞等を保管し忠勇無比の我陸海軍將卒を永に記念すべき記念館は目下總督府に隣接せる約七十坪の地に土工工事石垣築造中にて一方工作場に於て材木の組立を爲しつゝあれば本場に建設は來五月頃より中村內匠寮技師監督の下に着手する筈なれば今秋十月頃迄には竣成すべく右建築物は永久的堅牢の家建にして總工費約十二三萬圓の豫算なるが該敷地の陵には日淸戰役の捷天府、北淸事件の懷遠府、日露戰役の建安府と同樣聖旨に依りて名稱を附せられ府名は多分皇族方が御染筆相成るべしと

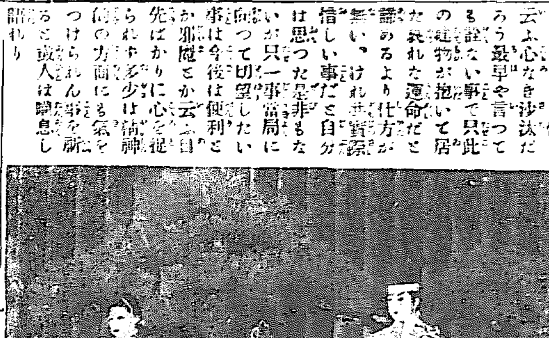
●取壞された訓鍊院の建物

歷史的の遺物　―惜しむべき―

目下東大門內に小學校の立派な建物が著々竣工の域に近づいて居る先日通行の際此の敷地內に訓鍊院の建物が依然として其の

▽古風な姿を殘して居て訓鍊院と云ふ大きな額までが當時の儘であるのを見て自分は非常に嬉しい感想を以つて當局者の心ある意匠に向つて心中大いに感謝の意を表して居た即ち此の建物は最近朝鮮の歷史的遺物で是れを校內に保存すると云ふ事は兒童に生ける歷史的實物教育の資料として誠に必要な事だと思ふたからである然るに本日彼處を通つて見ると此の訓鍊院の建物が取り壞されかゝつて居るのを見たかゝる我が國勢の發展を語る

▽由緒ある建物をむざ〳〵と破壞の手に捉へさすとは!!何と云ふ心なき沙汰だ、或は最早や言つて見ても詮ない事で只此の建物が抱いて居る運命だとあきらめるより仕方がないけれど實際惜しい事だと思つた是非もない只一事當局に向つて切望したい事は今後は便利とか邪魔とか云ふ目先ばかりに心を奪はれず多少は精神的の方面にも氣をつけられん事を祈ると或人は歎息して語れり



今樣能樂仕舞

●二箇所の山火事

全北長水郡天川面蘇龍洞の國有山地より四日午後二時頃發火し居るを折柄同地方出張中なる農工商部の小林技手が發見し長水憲兵分遣所より憲兵出張し里民を指揮して消防に努めしも山岳險阻なる爲め容易ならず約二百町步(損害八十圓)を燒き拂ひて五日午後六時鎭火せり原因取調中又黃海道谷山郡淸溪面文殿里豐田洞西方約一里の國有山地(名山)より四日四時頃發火し憲兵は八十四名の里民を指揮して活動し約十七町步を燒失して五日午前四時鎭火せり

●警官に化けて

他人の妻を略取す

咸北北靑郡新西面中資里附生韓威東及び韓徹東外數名は同郡德城面社內里韓錫翊の妻李福實が無斷家出を爲し元憲兵の妻となり新浦面昌上里吳鳳學方に潛在し居れるを探知したるを以て同女を略取し韓威東弟韓弼東の妻とせんと企て共謀して本年三月八日吳鳳學方に押し掛け家人の不在を幸ひ福實が無斷家出せし事を訊問し手帳に之を記入し恰かも警官なるが如く裝ひ其不心得を說諭し兎も角も新浦まで同行すべしと威脅したるより身に弱點ある福實は彼等の云ふが儘に同行したるに福實は弼東方に押込められ居る中隙を窺ひ同家を逃れ出で此旨其筋に告訴したるより前記二名は略取罪として檢擧され取調の上檢事局に送らる

●懷かしい母校で同窓會

△…桃割や島田でいそ〳〵と…△

南大門の女子技藝學校にては十一日の午後一時から第二回の卒業生同窓會開催、學の數かれた裁縫室ではグルリと四角に机をならべそれにお菓子が出る福引が出るなか〳〵の賑ひ出席者は京城の人で今年の卒業生が大部分を占め總數五十餘名の大盛會中には開城、仁川から參會された人もあつた斯くて餘興としては數年前に卒業した大きな卒業生の人々から若い今春卒業の人達までお琴、琵琶、謠曲等の隱し藝とりどり中にも井上校長先生の謠曲とお揃ひの北古賀先生と加藤君代さんの合奏も美事であつて散會は午後五時因に同校の卒業生は總員百五十四名內四名は亡くなつた人であると

(寫眞は北古賀氏と加藤氏の合奏)

●京城醫師會

◇新しく公認醫師會となる

京城醫師會にては道同公認醫師會となり傳染病其の他の衞生事項に關し官憲の諮問を受くる事となつたので去る十日夜朝鮮ホテルに總會を開いた會には松永道長官、芳賀總監醫院長室谷博士、隈部警務部長を始め府內警察署長等も出席非常な盛會であつた會員は總て六十九名會は明治卅八年の創立であるがこれからは府內で開業する醫師は皆此の會に入會すべき事となつた而して會長には和田八千穗氏を副會長には中島眞信氏を推選し幹事三名は金井豐七氏、江頭富雄氏、瀨戶潔氏を推すこととなつたその他評議員の十六名もあるが前會長村上龍藏氏及び前副會長池田季雄兩氏も尠からず斡旋されたのであつた

醫師會長　和田八千穗氏

●贋指輪で騙取

忠北堤川郡成山面士田里生れの李龍俊(三一)は三月中黃海道延白郡東部面裴永化より資金を仰ぎ鍍金業者なる大邱趙善日より孝悌洞金相俊の兩名より鍍銀指輪九十九組を一組三四十錢位にて購求し之れを携へ黃海道延白郡に赴き純銀指輪なりと詐稱し一組二三圓位に賣却して不正の暴利を貪り頃日京城に流れ込みたる所を本町警察署の手に捕はれたり

○實用英語夜學會　大正三年四月始めて所謂に須き組織を有するエフ、エチ、スミス氏主唱者となりて旭町二丁目メソヂスト教會內に設立せる實用英語夜學會は漸次其の眞價を認められ益々發展しつゝ有りし所過般其の會館の新築落成したるを以て今回更に組織を完全にし四月十日より新學期を開始することゝなれり目下會員募集中同學會は每夜日本人教師出席して教授すと云へば斯學者に取て絕好の機關たるべし

●三味線入りの今樣能樂

能を最も通俗化した物
京城謠曲界の仕舞流行

京城に於ける謠曲の流行は年一年と上つて行くやうだが、近頃になつて謠ふだけで物足らずとあつて仕舞に指を染める人さへ出來た、この

◇潮時を　見計らつて近く今樣能樂の家元で今松竹會社に屬してゐる泉祐三郎が妻子眷族を引連れて京城の舞臺に乘込んで來る、今樣能樂とはどんなものであるか、某謠曲通に之れを質して見ろ、曰く今樣能樂は明治以前からあつたものですが、能を最も通俗的に然かも普通の

◇舞臺で　演るといふ所に特色があつて能の如く專門的で無く囃子の或る部分には三味線さへ加はつてるので誰にでも解る、しかし能の型は可なり嚴しく正しい道を通つてゐるやうである、今度來る泉祐三郎といふのは先年

◇京城に　來た事があるが今は能樂としては一派を成してゐて永年一座を組織してゐるのでいゝ所がある、今度來る事になつたのは斯界のために活氣を添へる事だらう

●警報

(十一日午後三時發)

風强く降雨あるべし低氣壓は揚子江下流に在りて七百五十六粍を示し北東に向け進行しつゝあり朝鮮全沿岸を警戒す

廣告

購買　龍山陸軍倉庫
玄米、精米、大麥、燕麥
詳細ハ四月十二日以降朝鮮官報ニアリ

謹告

▲内ロース　百目ニ付　卅六錢
▲ロース　同　卅錢
▲上肉　同　廿五錢
▲中肉　同　二十錢
▲並肉　同　十四錢
▲豚肉　同　廿八錢　廿五錢
▲鷄肉　同　四十四錢　四十錢

今回原價騰貴に付同業者協議の上當分の內右之通改正致候間此段謹告仕候
大正六年四月十日
京城精肉商　同業者一同

京日案內

普通　一回前金　五十錢　番外　一回前金(匿名一回增)
▲中途廢止の節は返金せず　▲六回以上の御申込は特に割引　▲御照會の節は返信料添付にあらざれば御答せず　▲御照會の節は必ず數字の番號御記入なさる

□古本　古樂器　誠實買受と交替　本町　ウツボヤ書店　電二五二七　692

◎湯屋賃貸　所在堅志洞　將來有望　黃金町　東京建物株式會社　電話一六八一番　947

◎貸屋　會社商店事務所向　間口四間奧行三間同二階　月十五圓　南大門側　希望の方は電話一一八八へ

◎店員入用　十七八より廿歲迄の者至急雇入る希望者は來談あれ　龍山漢江通電話四五五　龍山堂書店　938

◎嫁入道具製造　▲たんす家具一式…應需何品にても製造　京城本町四丁目　津村簞笥店　電二六七〇番　751

□店員入用　十六歲より二十歲まで　希望の者に　新龍山電車終點前　龍屋雜貨店　935

◎看護婦二名至急入用　履歷書携帶來談あれ　仁川　小倉病院　941

給仕採用　小學校卒業程度本人履歷書携帶來談あれ但市內に確實なる保證人要す　黃金町二丁目　明治公債朝鮮支部　62

灸　桑田アサ子　949
▲黃金湯▼十二日より當分の內黃金町東拓前に臨時出張

店員　十七八歲の者二名入用希望の方は來談有度し但し市內に確實なる保證人を要す　永樂町二　播本商店　電話一一〇　948

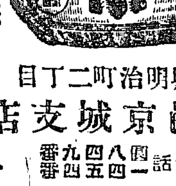
有給社員募集　男女希望者午前十時迄に來談保證人二名を要す　本町二丁目八六　ミシン裁縫會社　本町分店　950

かし家　漢陽公園入口にして風景至極宜敷間數七　家賃一ケ月三十五圓　旭町一丁目　白水　電一七一四　943

恩給年金　低利長期即時立替　短期無保險　京城南大門外舊御成町　山口屋　西鮮支店　京義線沙里院　黃川商店　791

貸座敷向貸家二棟　御希望の方は來談あれ便宜御相談に應ず可候　龍山彌生町　電二五一一番　湯川多吉　796

比較は最良の撰擇法なり!!



サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話　八四九番　一四五四番
振替京城五七番

ルエテン

梅毒有無診斷液

ロツクフエラー研究所病理部長　醫學博士　理學博士　野口英世氏發見

梅毒は醫師の充分なる治療を受くれば完全に全治す、治療せざれば幾十年にても潛伏して身体の衰弱せる時に腦神經、內臟眼球、骨等總ての臟器に種々の病症となりて現るものなり

其外部へ現れしものは治療に便なれども潛伏、遺傳、其他內臟に病勢の進みしものは外觀上診斷困難なる爲遂に適當なる時期を失し恐るべき結果を見る事あり、されば其原因の新古乃至は遺傳、潛伏の何れを問はず梅毒の疑を有する者は先づ醫師に就てルエチンの注射を試みられよ其有無直に判明して疑問は遂に解決すべし

本品は從來唯一の梅毒診斷法たりしワツセルマン氏の反應より遙に銳敏確實且つ簡易なる注射を以て殆ど百%に陽性を現す理想的梅毒診斷液なり

ルエチンは內科、外科、小兒科、皮膚科、眼科、產婦人科、耳鼻咽喉科等凡ての專門各科に利用すべきものなり

醫家及藥業家諸君に急告

弊社今般細菌部を新設前記ルエチン及各種ワクシンを發賣せると共に傳染病研究所の血清類を特約販賣す
圖ルエチンは野口博士の下に研究せる赤津ドクトル擔任
圖ロツクフエラー研究所の特許を得て製造す
圖ワクシンは英國ライト博士の下にて多年研究を積みたる或士ドクトル擔任して十餘種を製出
最新鮮有効なるものを供給す

說明書あり申込第次送呈す

東京京橋區南傳馬町三　星製藥株式會社細菌部
電話京橋一七八五　振替東京二〇五三二

內科　胃腸病
診察午後九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一三九〇番　二七二九番

神經衰弱特効
ユーキリン
榮養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱、陰萎、榮養不良、結核諸症、腺病、重病回復期ニ適ス
粉末　廿五瓦入金七拾五錢　錠劑　百錠入金八拾錢
本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士ノ創製ニ係ル吸收性同化性ノ理想的有機性燐劑ナリ
說明書進呈ス、各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町　三共株式會社

內科小兒科
外科花柳病
▲入院隨意▼
京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡(朝鮮銀行前停留所より二分間)
酒井醫院
電話二五四一番

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百三十三　根くらべ『廿六』の三

『御前様、そのやうに仰せられましては、妾、もう何ともお答への致しやうが御座いません。妾は虚詐りもなく、心底から此の世の中が厭に成りましたので御座います、もう〳〵彼の人の事も思ひ斷念めて居ります。身の上の慾も悲みも、殘らず打捨てゝ了つて、只管に佛様のお敎へに從ひます覺悟で御座いますから、思知らず……薄情な女との思召しも御座いませうが、情願、今更になつて、御前様のお心に從ひます事丈はお赦し遊ばして下さい。』

絹代は、眞個もう此の心を以て、浮世の一切を斷念め盡くしたのであつた。極端に言へば、彼女の眼中には既に、幸三郎もなければ、繼母もなく、又直則男爵に對する義理も恩誼も何もないのであつた。それなればこそ、彼女の言ふ所と云ひ、態度の上にも、從來の絹代とは違つて、凜々しい嚴めしい明斷とした強い氣分が表はれて居るのである。

『…………。』

敢へて氣を呑まれた譯でもあるまいが、今度は反對に男爵の方から口を噤んで了はれたのである。例の闊羽髯をば、手持無沙汰の餘り、せゝこましい程に蒼蠅くこき下して、怪訝さうに兩の眼を光らすのみであつたが、約そ十五分間も過ぎたる後、男爵は、何か心に會得した事でもあるらしい首肯きを示して、

『絹代、諄いやうぢやが、念の爲めもう一度お前に聞いて置くんぢやが、お前は今、彼の人の事は一切斷念め盡くして居ると言ふたやうであつたの？。』

『はい……。』

『彼の人の事とは、恐らく倉橋伸雪とやら云ふお前の許婚の良人を指して言ふたんであらうのッ。』

『仰せ遊ばす通りで御座います。倉橋の阿兄さんの事を申しましたので御座……。』

『うむ、それで好し！ではお前は、絕對にその男の事も念頭から拭ひ去つたと云ふ譯ぢやの。』

『……御意の通りで御座います。今までは、その未練といとしさとが心に附き纏つて居りましたばかりで、怖い辛い悲い死の苦痛を致しましたので御座いますが……何も彼も斷念めて了ふより外はないと、覺悟を定めましてからは、反つて此の心が淡白と致しまして御座います。』

『何様の、迷ひの雲が晴れて、高嶺の月を見るやうな氣分になつたと言ふのか？いや、それならば乃公も存じの外感心して遣はすぢやよ。其處でぢやの、絹代、乃公もお前から斯程までに手强く刎ね付けられて、此の儼指を嘲へて引込むと云ふのは、男として忍びがたい所であるぢやが、お前のその殊勝なる覺悟に免じて、今日限り重ねてお前に無理は言はんぢや。詰りお前に對する乃公の希望は、影も殘さんやうに乃公が頭腦の中から、取つて捨てゝ了ふぢや。分つたかの、絹代。負うた子に淺瀬の瞥ひもあるもんぢやからの、はッ、は、は。』

打つて變つた直則男爵の高笑ひに絹代はトチ迷ふばかりに驚き呆れたのであつた。

『御前様、それではあの、妾の我儘勝手をお赦し遊ばして下さいまする上に、妾の自由にお任せ下さるので御座いますか？。』

『然うぢや。お前の希望次第で、お前が尼にならうと何にならうと、乃公は一向干渉するとは言はんぢや。けれども、絹代。』と、男爵は再び初手の厳格らしい語に復つて、

『けれどもぢやよ、絹代、お前から見れば、齡の三倍にも近い乃公おぢやの、我が娘のやうなお前の辭を肯き容れて、斯う柔順しう手を引かうと爲るには、乃公の方にも亦少しく今後の希望があるんぢやが、お前、それは豈夫に頭を横に掉るやうな事は有りは爲んぢやらうな。』

男爵の豹變の仕方が、餘りに急激であり意外であつたので、絹代も內心は薄氣味わるく思つて居たのであるが、忽ちにして、第二の註文らしい前提が現はれて來たので、絹代は何事にやあらんと、私かに胸先を抑へ付けながら悄れて坐り直つたのである。

『御前様、それは又如何様な事で御座いますでせう?。』

『如何様な事でもない。此の上もない容易い事ぢやよ。』

直則男爵は嘯くやうに高い天井を視上げて、故意かあらぬか、左も無雜作らしい笑ひを含んで居られた。

口停雲會詩集（於撫松庵）

寶花齋　押韻　天南

一片常存答聖明。未竭朝恩赤心驚。肺腑何曾條酒迸。時詩彩管造一生。休說人間利名事。起拔白雲汲泉烹。耽看古書無人到。春雨瀟瀟寶花聲。

同　登齋

江碧欄干外。春寒柳絮輕。詩人相對酌。時聽寶花聲。

之亭曰　妙少構法當有前途

同　撫松

衛南蒄子不知名。撫背藏春朝人披。莫向尋常紙陌明。寶花聲是寶詩聲。

之亭曰　心肺己香

同　之亭

十旬多病掩柴荊。已怕春寒館不輕。門外鵓鳩啼雨雨。一犁新雨寶花聲。

新橋流砧押韻　夢蓮朱憲爽

載盆村女互相招。顏色嬋娟含態嬌。爭取奮衣言辨否。共隨溝潤下新橋。

同　天南

競把羅巾纏細腰。天桃溪畔女如桃。丁丁溜溜新橋下。斷送春風思子謠。

之亭曰　索意婉妙

同　撫松

韶光滿地町巾飄。九陌風輕柳眼嬌。何似東京繁盛地。手噯掛新橋。

之亭曰　作意麗艷

同　之亭

俱家近停水西橋。茶石蒼落一望遙。過市春氷新散盡。新聲并靜月明宵。

次夢蓮老兄兄春雁韻　松堂

數陣蔘差政不齊。湘流如夢楚山迷。炎涼改謝何曾識。任把爪痕點雪泥。

江亭小酌

亭上青山亭下江。有時留客酌深缸。料得汀洲春色。早雪鵝花鴨鵡雙。

之亭曰　兩首門頗有得來處。

（未完）

山形少將を送る

角田不案

○日本の雄々しき功績に美しき力つくしゝますらをを望るか。

○十年をば一日のごとくかはりなくつとめはたせしますらをかへる。

○譽あるつとめつくしてつゝがなく今日かへりゆくあはれますらを。

○野に山に春の光は降りしけど君かへるてふ吾が心寂し。

○とりがなく東にはら君くるさ春も秋も今が盛らむ。

○ある時は代々木が里に佐城谷の櫻の花の多にかたへん。

○目ごと日ごと同じ時刻にかの家に通ひ寄りいりては碁等語りし。

○かにかくに談話せし君今かにかくに語りし少將今別れんとす。

○少將よいき給のことさこの香なこの朝鮮を忘るゝなかれ。

○酒の名を梨といひし昔の粟のまさこや君に入を欺かす。

○大宍平從少名は古郡の古より徳あるものは入豈ひけり。

新刊紹介

▲鐵拳（創刊號）解剖臺上の木下八百子、藝者の縮たる色魔鬼探偵、暗闘珍物語、梓様へ御注進、諸談等（十四錢東京市芝區新櫻田町一九丁巳社）

▲少女（四月號）四百圓の淚、お父様の寶物、王様の丸柱、最古の刺繡、少女書畫家、世間ばなし、社會白熊等滿載（十六錢東京市京橋區時事新報社）

▲少年（四月號）主なき汽艇、聖德太子、黑布の假面、個島探險隊、生物の曲藝美、時事解説等興味と教訓とに富めるものを載む（十六錢東京市京橋區時事新報社）

▲武俠世界（淫猥文學撲滅號）針重半熊、岡田文和、安部磯雄、赤木格平其他諸氏が特大の筆を振つて淫猥文學撲滅に筆を加へたるものにして數十の記事挿頭を挿む（三十錢東京市上野公園櫻木町北社）

▲實業界（四月號）看板及び廣告として看板廣告、廣告に現はれたるリ々、販賣商略、小賣商店經營の要訣其他商工業者必讀の文字（二十五錢東京神田三河町一の一九同文舘）

▲西洋書報（舞姫號）歐米舞姫寫眞十數葉、如何に美なりし美術美の力、人間は茶化する動物なり及び翻譯小說三編其他（二十八錢東京麴町富士見町四の一北社）

▲詩歌（四月號）前田夕暮を中心とせる文藝雜誌にして主として短歌を收めたり新派作歌の好個伴たるべし（特價三十錢東京府西大久保二〇四白日社）

▲ゴルフの好評　高峯博士創製アドラ目藥製造元東京室町峯島製藥株式會社にて發賣の腸胃消化劑ゴルフは有名なるタカヂアスターゼに勸むるものにて胃病の外健康の人にも非常に効能ある由にて近來賣行頃に增加せし由なり

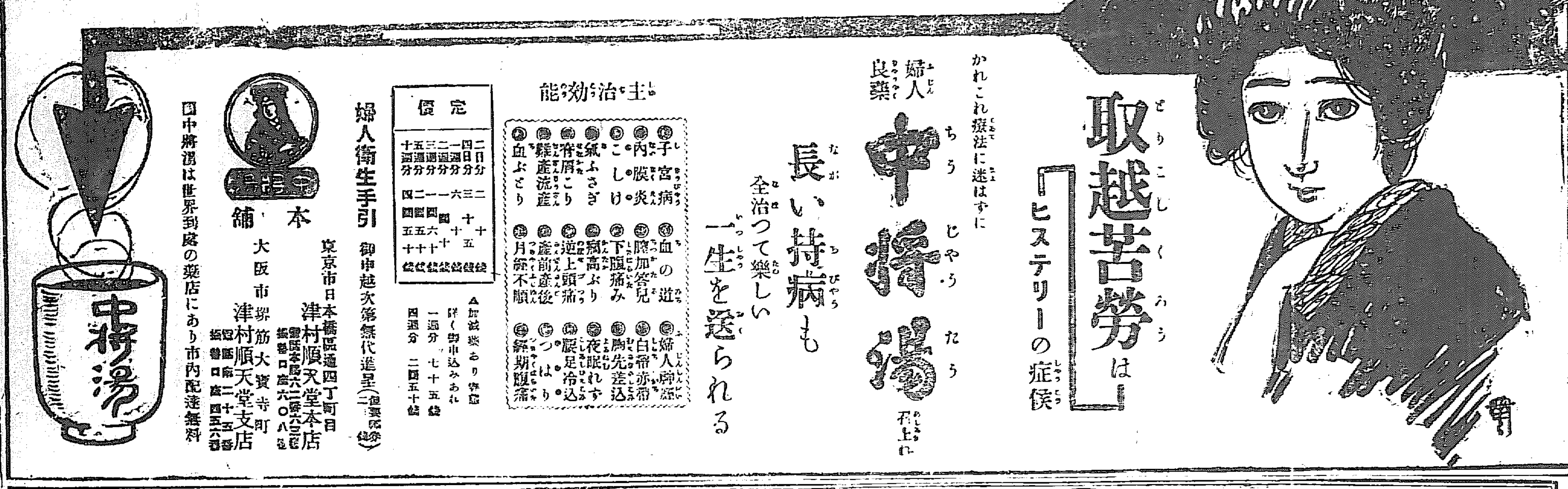
商況

下關正米特電

大阪正米（十一日）（後場）一五九〇　一六三六

▲後場の手振

▲能く買ふ



髮をしなやかに　丈長がく　美しく房々と　黒く漆のやうにするは　廣い世界に「タッタ一つ」

パール煉香油がある許かり

……とは……パール愛用者がおつしやる御話であります

本舖　東京　平尾贊平商店

關西代理店　大阪　平尾贊平支店

鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る（店主　西村潤造）

かぜつねの最良藥　カキヤピリン

◎面白い程よくきく良藥なり◎かぜ藥は必ず本劑を服ご定て常に家庭に備ゐ少しでもかぜの氣味あらば寢冷させぬ樣直ぐ服用せよ◎面白い程効あり◎小兒には專用の小兒カキヤピリン◎アンチピリン、アスピリン等類似の他品あり御注意

藥價　五錢　十錢　廿錢　一圓

本舖　名古屋京町二　荒川長太郎

金泉醴泉間自動車時間

金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間

大塚農場自動車所　大邱出張部

巳共同汽船仁川出帆

伏見丸

○芝罘、大連行

阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店　野口商會

元山代理店　田口回漕部

京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行　四月十五日後五時出帆

○立神丸　四月廿六日後四時出帆

○和歌浦丸　四月十四日後六時出帆

○山第三琴平丸（城津、淸津行）四月廿五日後六時出帆

○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　毎月一日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆

○天草丸

釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行

大有丸　四月十一日後四時出帆

吉丸　四月十七日後四時出帆

秀吉丸　四月十五日後四時出帆

神代丸

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行

和提丸　四月廿一日正午出帆

三河丸　四月十二日正午出帆

高砂丸　四月

仁川海岸町　電話十二番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戶行

×山頭丸　四月十五日

×信濃川丸　四月廿五日後五時出帆

×天智丸　四月廿二日

◎釜山、濟州行

×福州丸　四月十五日後二時出帆

○木浦、釜山、麗水、長崎行

×安東丸　四月十四日後二時出帆

×安東丸　五月二日後二時出帆

○群山、釜山、濟州行

△福州丸　五月九日後二時出帆

△濟州丸　五月二日後二時出帆

○南浦、群山、神戶、大阪行

須磨丸　四月廿日後二時出帆

○鎭南浦、大連行

×安東丸　四月廿七日後二時出帆

×安東丸　五月十五日後二時出帆

○大連直航

×福州丸　五月三日

△濟州丸　四月廿六日正午出帆

◎西湖津、新浦、城津、淸津行

宮島丸　四月廿九日後十二時出帆

◎海津行（元山出帆）

安平丸　四月廿三日後十二時出帆

○上海、芝罘、打狗行（大連出帆）

湖北丸　四月十五日前六時出帆

基隆丸　五月一日

切符發賣所